

2025  
10.3 FRI – 10.5 SUN



湖国の感動 未来へつなぐ  
**わたSHIGA 輝く  
国スポ2025**  
第79回国民スポーツ大会

# JAPAN GAMES SPORTS CLIMBING in RYUOH

竜王町総合運動公園  
スポーツクライミング特設会場

主催

公益財団法人日本スポーツ協会

文部科学省

滋賀県

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

竜王町

主管

滋賀県山岳連盟

# 目 次

あいさつ .....		
公益財団法人日本スポーツ協会会長	遠藤 利明	02
文部科学大臣	あべ 俊子	03
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会会長	町田 幸男	04
歓迎のことば .....		
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会長	滋賀県知事 三日月 大造	05
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会会長	竜王町長 西田 秀治	06
滋賀県山岳連盟会長	澤山 恵	07
規 定		
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程		08
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程		09
役員名簿		
(1) 大会役員		10
(2) 競技会役員		13
(3) 競技役員		14
(4) 競技会係員		16
(5) 競技補助員		16
(6) 競技会補助員		17
大会実施要項		
総則		18
実施要項		35
競技日程		39
大会会長トロフィー返還式・監督会議		40
種目別表彰式／総合表彰式		41
競技の見方		42
種目別編成表		44
都道府県別参加人員一覧表		45
スポーツクライミング競技 組合せ表		
成年男子		46
成年女子		47
少年男子		48
少年女子		49
参加選手・監督一覧表		
成年男子		50
成年女子		51
少年男子		52
少年女子		53
総合成績決定方法と手順		54
種目得点表		
成年男子／成年女子		55
少年男子／少年女子		56
総合成績一覧表		57
過去の成績一覧表（天皇杯・皇后杯順位）		58
過去の成績一覧表（種別・種目別順位）		60
関係機関一覧表		64
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ		65
スポーツクライミング競技会場図		66



## あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会  
会長 遠藤 利明



## あいさつ

文部科学大臣  
あべ 俊子

約400万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第79回国民スポーツ大会が開催されることは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わたS H I G A輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年6月、14年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。さて、昭和21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年3月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わたS H I G A輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わたS H I G A輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わたS H I G A輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和7年7月31日



## あいさつ

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会  
会長 町田 幸男

ここ滋賀県竜王町において「わたS H I G A かがやく国スポ」第79回国民スポーツ大会2025スポーツクライミング競技会が開催されることを心より感謝申し上げます。

滋賀県竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場、通称「ドラゴンハット」と呼ばれる会場はボルダーとリード壁を同時に設置できる屋内施設であり、天候に左右されることなく競技を行なえます。クライミング壁は関係者皆様のご尽力により本年6月のリハーサル大会から本大会まで4か月にわたり設置頂きました。その間、お陰をもちまして日本代表選手の強化合宿や体験イベントを開催することが出来、スポーツクライミングの振興が大いに進展しましたことにつきましても重ねて感謝申し上げます。

国民体育大会は昨年より国民スポーツ大会と名称が改められました。時を同じくしてスポーツクライミング競技においても様々な変更が行われました。成年男子にもブロック予選を実施し、全種別とも参加は一律に25チームとなりました。リード競技では完全4ルートでの予選フラッシング方式により男女同時の進行が可能となるとともに、ボルダー競技では昨年のパリオリンピックで行われた採点方式に変更することで観客の皆様にも分かりやすくなり、競技性もよりいっそう向上しました。

スポーツクライミング競技はオリンピック東京大会、パリ大会で採用されました。ロサンゼルス大会では正式種目に、さらにパラリンピックでもスポーツクライミング競技が開催されます。その後のブリスベン大会では国別団体戦として開催を予定しており、競技方式はまさしく国スポーツのスポーツクライミング競技団体戦そのものといえます。

都道府県予選、ブロック大会を勝ち抜いてきた全国の選手の皆さん、いよいよ待ちに待った晴れ舞台の開幕です。日頃より鍛え上げた体力と知力、精神力を存分に発揮して最高のパフォーマンスで見る人を魅了し、感動と勇気を与えてください。私たちも力の限り応援いたします。

結びに、数年前から準備に携わっていただきました実行委員会の皆様、滋賀県、竜王町、そして滋賀県山岳連盟をはじめとする大会運営にご尽力いただきますスタッフの皆様に厚く御礼申し上げます。皆様の心に残る素晴らしい大会となることをご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。



## 歓迎のことば

わたS H I G A 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長  
滋賀県知事 三日月 大造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わたS H I G A 輝く国スポ」を開催できることは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



# ようこそ！竜王町へ。

わたS H I G A輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会 会長  
竜王町長 西田 秀治



# 歓迎のことば

滋賀県山岳連盟  
会長 澤山 恵

“ようこそ、竜王町へ！”皆様のお越しを心よりお待ちしておりました。

わたS H I G A輝く国スポ スポーツクライミング競技会に全国から選手や関係の皆様をお迎えし、当町で開催できることを大変うれしく思います。そして、竜王町民を代表し、「一期一会」の思いを込めて歓迎いたします。

当町で、初めてとなる国スポ大会開催。より良い会場づくりをと、関係団体の皆様のご助言を仰ぎながら、今回、国スポ大会では「初めての試み」として、リード・ボルダー2つの種目を同じ施設内（屋根付き多目的グラウンド「ドラゴンハット」）で開催します。また、競技本番までの控室などの付随設備や観客席もこの施設に集約することで、コンパクトで機能的な競技会場としました。文字通り“帽子のような大屋根”の下、風雨などの影響を少なくし選手の皆様のパフォーマンスが存分に発揮できる環境になったと思います。

選手・監督の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮されることで、躍動感あふれる素晴らしいパフォーマンスを繰り広げられ、この大会を盛り上げてくださるようご期待申し上げます。併せまして、会場に集う全ての皆様が、国スポならではの地域を超えた交流を通じて「竜王に来てよかったです。」と思っていただける素晴らしい大会にしていただきたいと思います。

また竜王町は、昭和30年に2つの村が合併して産声を上げ、今年、町制施行70周年の節目を迎えた人口約1万2千人の小さな町です。大会期間中の限られた時間ですが、厳しい練習の日々を過ごされる選手の皆様には、収穫を終えたばかりの田園風景や秋の訪れとともに表情も豊かになる里山の緑が届けてくれる“癒しや安らぎ”を感じて心身をリフレッシュしていただければと思います。そして、朝夕も凌ぎやすくなり、いよいよ「味覚の秋」の到来です。竜王町は日本三大和牛の一つ近江牛発祥の地です。また、果樹の栽培も盛んで、これからは多彩な果実が「秋の訪れ」を運んでくれます。時間が許すならば、是非とも、わが町の秋を満喫いただければと思います。結びに、「竜王町町制施行70周年」の記念すべき年に本大会が開催できますことはこの上ない喜びであり、この大会開催に向け、一方ならぬご支援・ご協力を賜りました関係する皆様に衷心よりお礼申し上げまして、歓迎のご挨拶といたします。

第79回国民スポーツ大会「湖国の感動未来へつなぐ わたS H I G A輝く国スポスポーツクライミング競技会」に参加の選手監督そして役員の皆様、ようこそドラゴンハットにお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。皆様、今回の会場を目にして、驚かれたのではないでしょうか。リード、ボルダーともに一つの大きなドーム内で行われることとなったのです。これは、ひとえに開催地元竜王町の並々ならぬ熱意と努力で実現したものです。競技を主管する連盟としても、感謝の気持ちでいっぱいです。天候に左右されないドーム内でベストパフォーマンスを目指してください。

克己一念という言葉があります。目標に向かって努力する強い意志を表しますが、特に自己との闘いに焦点を当てた言葉といえます。日々の厳しい練習に耐え、困難な状況で自分自身に勝つというニュアンスです。まさに皆様の今の状況でしょう。

競技会である以上、出場される選手監督の皆様が主役であることには間違ありませんし、私共役員一同は皆様がベストを尽くせるよう精一杯努めてまいります。と同時に、皆様方の熱い思いや努力する姿を目の当たりにして、逆に私たちが元気をもらい今後に活かせることも多いと信じております。そうした多くの熱き思いでこのドームがいっぱいになることだと思います。

さて、主催の竜王町は1955年（昭和30年）4月発足、今年で70周年を迎えられます。一方主管団体である滋賀県山岳連盟は1954年（昭和29年）3月に発足をしております。当連盟は今年2025年に70周年記念事業を予定しております。国民スポーツ大会を主管するという大事業のため、周年事業そのものは次年度に延期しますが、ともに70年という節目に、大きな事業を開催することに、何やら因縁めいたものを感じます。ともに手を携え、選手の皆様が思い存分持てる力を発揮いただけるよう、運営に邁進してまいります。

最後になりますが、今大会の開催にあたり、ご指導を賜りました公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会をはじめ、滋賀県並びに滋賀県スポーツ協会の皆様に感謝申し上げます。何より竜王町実行委員会の担当の方々の国スポの成功に向けた熱い思いがいっぱい詰まった大会であります。選手の皆様、持てる力を存分に発揮し悔いのないパフォーマンスをしてください。滋賀県山岳連盟の会長として心よりご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



天 皇 杯

皇 后 杯



大会会長トロフィー

## 国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

**第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。  
2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

**第2条** 天皇杯及び皇后杯は総合閉会式に授与し次回の総合開会式において返還する。

**第3条** 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。  
(1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。  
(2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。  
(3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合はこれに応じなければならない。

**第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

**附 則** 本規程は、昭和41年4月1日 制定  
昭和45年1月22日 一部改定  
昭和48年7月10日 一部改定  
昭和54年5月9日 一部改定  
平成17年6月16日 一部改定  
平成22年3月17日 一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日 一部改定  
令和6年1月1日 一部改定

## 国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

**第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下大会会長トロフィーという。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。  
2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

**第2条** 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

**第3条** 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。  
(1) 責任をもって保管する。  
(2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。  
(3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし第1条第2項の場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。  
(4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

**第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

**附 則** 本規程は、昭和41年4月1日 制定  
昭和45年1月22日 一部改定  
昭和48年7月10日 一部改定  
昭和54年5月9日 一部改定  
平成17年6月16日 一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日 一部改定  
令和6年1月1日 一部改定

# 役員名簿

## (1) 大会役員

25年7月31日現在  
(順不同・敬称略)

藏樹隆美厚彦郎雄宏清子二一弘也ん人弘英也彦人朗一恭也昌實吾一  
康正久和賢裕和正明祐俊益正かれ雅善光拓和俊八守歳誠孝賢康  
成原良林中野野寺本椋浜澤合場田島田川城増川谷田部藤田宗田石田  
宮藤奈小野矢上小宮小永深川馬河牧土筐岩達大熊新阿伊池越楨大塩  
子治子一新宏子子英英人靖也明二一威成樹也士裕世剛章彦也純義郎  
秀朝廣幸治裕展嘉和恒達英光真弘秀知清元英秀元達正祥俊  
木良藤部子村野村浦本間山道村砂耕羽谷村野角野村藤山田口隈  
辛平佐菊武增有北武北杉宮仲富安中真世丹小北大花高大齋丸後山日  
彦成弘子子健行子紀クス彦地地泰子文室郎次子生子司浩治二史男政郎直  
勝幸隆妙純敦由レック泰聖大和裕恭玄喜正素裕美祐伸達多知昭嗣誠益  
柳元上木口松野田ア井野木須屋丸谷野保川村藤田本谷橋岡部生  
小岩川宇山赤浅嘉藤村草鈴三三金千永大久荒吉遠岡杉中高林村服麻  
藤藤大河小寺金茂大こ目伊有坂藤砂豊村町番寶鶴福山馳田西宮苑大甲玉  
本本原菅澤城里岡り片藤森田田岡田井田匠田田本口脇崎田塚斐斐城  
武格朗司孝邦毅孝史悟勉子一志治男満男郎馨司一博浩隆俊泉英男博  
嘉正泰敏隆信定裕東直良章幸幸一有富義隆知岩隆デニ一

与	國文誠	俊人	一人	惠次	紀隆子	樹勝苗
糸	圭辰	子也	江成	学剛	彦也	和史代
井	狩	辰泰	川昭	田	彦和英	浩千
井	小	河井	里	九重	今奥川	海河駒
井	河	田	田	田	桑島野	河駒柴
井	九	水	中	清田	白柴田	周田防
井	重	ひとみ	英樹	中	田井中	田中川
井	清		隆	田	富波田	木中節
井	田		行	波	田野	森森
井	谷		庸	田	木沢井	重田窪
井	中		江	土	木土	東野
糸	村				村	村
糸	河				河	河
糸	藤				藤	藤
糸	田				田	田
糸	口				口	水沼
糸	水					沼
糸	沼					沼
糸	沢					沢
糸	田					田
糸	中					中
糸	本					本
糸	東					東野
糸	野					野

惠也 惠義一 義健啓知 寿寬昭文司幸治哉  
三達佳 隆陽宣 克國和 智博貴良恒智美智子  
田村田木 見村城村津堂 澤田戸木野山  
園中中正原浅竹今有甲藤岸金山川三佐崎  
之守人子晃成史子治久夫努伸祥太子宣雄  
和 晓久久一高加秀善良 義幸 と弘孝  
村田原内島中浦田田井村林井野長西  
森中岡藤池田森松西藤市涌寺竹石草富大  
塚東奥白小佐橋櫻堀久高熊山杉一高上赤  
弘彦一稔史司渉樹博良郎志一也成郎代和  
晃寛光 雅健 直和久祥正博真泰健照弘  
本郷山井林藤川本江保橋倉本原圓橋村井

春利人誠二理貴也二司弘明順保郎稔子  
千忠信 純 裕航純清昌英 太忠 千惠子  
田田吹田川西永田本 村田本西畠川田  
松山伊保北小岩角寺堤野武山上田市太

輝	紀輔	紀香伸也	博史朗宏人	晃和巳	衛孝淳一郎
茂	大祐晶	晴哲康英義昌直裕延知	長右門	好谷木	黒
沼	見大深児	稻木前河前濱宮菅竹武田刈	田	本城間内田	田
波	田貫谷玉葉原田口田	本城間内田	守直公	江	江
昭	紀男史里史学也	也幸良史也之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
弘	和尚直由剛	純新英度尚雅宏	弘彦一	守直公	江
江	井谷埜田	我嶋口岡山元葉澤井田岡	守直公	守直公	江
横	高瀬岩戒林曾中田辻松山千柄碓沼吉平	千柄碓沼吉平	守直公	守直公	江
子	子敦規暢行司浩子行成和哉司洋彥守治也	也幸良史也之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
佳	直正克隆宗綾孝一美信真雅元健吉	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
本	水木野保澤田村本田鷺山藤田井後井木部	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
池	清鈴高新井藤吉松高尾横遠角酒今松荒綾	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
南	門加太金村杉高松久笠吉高須東井竹寺渡嘉敷	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
野	藤田田松浦橋本米井野野藤瀬上内崎敷	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
広	裕樹美人也紀二正成行郎洋司人哲勝巳之	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
芳	久雄真貴達美健守和康賢瑞勇義俊雅通	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江
南	門加太金村杉高松久笠吉高須東井竹寺渡嘉敷	之稔弘彦一	弘彦一	守直公	江

委員長

山 本 浩

副委員長

岩田史昭

田 中 秀 和

辻 瞳 弘

總務委員

松 永 敬 子

稻 垣 公 雄

笠	野	英	弘	加	藤	光	国
松	田	基	子	三	田	礼	一
出	崎	和	夫	ケ	野	榮	武
田	内	慎	也	宇	下	博	次
小	澤	大	樹	山	野		之
西	島	義	典	佐			

委員

了	夫	郎	淳	則	広	祐	幸	雄	亘	子	裕	大	介
野	本	邊	澤	梶	木	口	原	辺	本	田	子	岡	垣
平	松	渡	寺	中	鈴	田	菅	渡	井	吉	金	政	寺
聖	幸	裕	重	正									
橋	士	間	川	藤	口	井	橋	井	根	本	口	中	

等史勉修輔茂男輔史司三也紀潤光良斗敬博浩雅佑雅若細濱高宮岡西衛山越川富田近月野野川泉原藤中前口澤口藤弘崇義生二潔之生吾男子子映広政奧信憲剛哲信二眞恵百章村原田喜藤田川南木山野治原高吉栗品舟加和岸長鈴中東品小宇

## (2) 競技会役員

2025年8月1日現在（順  
不同・敬称略）

### 競技会名誉会長

西田秀治

競技會副會長

廣川 健太郎 畑 中 渉 澤山 恵 勝見 孝一  
杼木 栄司

顧問

## 参与

中橋 沙羅	星 一男	石 田 英行	武 田 豊明
下村 真一	蛭 田 伸一	野 村 善弥	前 田 善彦
安井 博士	小 高 令子	栗 田 季慎子	中 島 隆之
平田 伸也	奥 井 健吾	藤 江 理枝	西 原 斗司男
中村 匡希	三 宅 政仁	若 井 政彦	大 橋 裕子
鎌田 勝治	橘 せつ子	澤 田 满夫	磯 部 俊男
内山 英作	森 島 芳男	山 田 義明	川 部 由紀子
中島 薫	櫻 井 絵里子	望 月 啓治	赤 尾 浩一
小田 部拓	西 村 幸夫	山 添 千鶴子	片 岡 大
谷 康夫	岡 崎 吉隆	西 村 善幹	奥 田 浩士
小西 精	若 井 富嗣	雨 森 正記	大 野 稔
田 畑 太郎	青 地 靖人	大 橋 寿伸	若 井 幸司
小林 靖英	久 保 雅則	金 子 春生	藤 堂 保
雲 義明	藤 永 誠志	國 松 嘉仲	伊 藤 克己

## 競技会委員

西 原 斗司男	原 勇 人	土 屋 正 昭	伊 藤 剛 史
羽鎌田 直人	片 山 健 太	河 野 陽 子	杉 山 将 崇
四 戸 義 繼	下 村 真 一	河 竹 康 之	赤 松 久 宇
大 垣 隆	加 藤 正 之	三 森 一 男	目 次 俊 雄
百 瀬 恭 平	山 本 和 幸	岩 本 郁 夫	武 末 良 樹
平 山 ユージ	松 下 征 文	竹 村 喜 一 郎	今 井 康 太 郎
中 西 光 昭	岡 田 慎 也	西 澤 昭 彦	森 田 光 治
高 間 一	平 藤 駿 介	中 川 千 佳 子	小 林 広 幸
城 尾 与 志 明	打 谷 桂 子	岡 司 明 德	川 嶋 正 明
森 德 男	寺 嶋 要		

## (3) 競技役員

(順不同・敬称略)

## 競技会会長

町 田 幸 男

## 競技会副会長

畠 中 渉 澤 山 惠

## 競技委員長

原 勇 人

## 競技副委員長

土 屋 正 昭 片 岡 幸 一

## 中央総務委員

山 本 和 幸 岩 本 郁 夫 赤 松 久 宇

## 県内総務委員

藤 堂 保 雲 義 明 中 西 光 昭

## 審判長

羽鎌田 直 人

## 副審判長

長 谷 川 千 秋 野 村 康 寿

## &lt;リード種目&gt;

L主任審判員	尾 形 保 充	畠 中 渉	河 野 陽 子	大 川 慎 哉
L審判員	戸 田 大 輔	谷 崎 夕 子	高 間 一	田 中 孝 明
Lチーフルートセッター	山 本 大 策	林 佳 弘	河 野 陽 子	大 川 慎 哉
Lルートセッター	濱 田 健 介	岡 野 寛	尾 崎 浩 詔	岩 橋 由 洋
チーフビレイヤー	笠 原 大 輔	佐 原 晴 人	松 尾 洋 巳	寺 本 燦
ビレイヤー	小 林 広 幸	米 田 貴 代	三 上 大 智	脇 田 一 輝
	西 澤 隆	西 澤 隆	井 上 忠 史	小 宮 山 弘 子
	荻 堂 友 美	奥 井 健 吾	北 村 憲 彦	中 西 努
	中山 しおり	小 林 春 彦	中 山 ななみ	

## &lt;ボルダー種目&gt;

B主任審判員	山 崎 剛	彌 田 桂		
B審判員	高 橋 伸次郎	片 山 健 太	河 野 智 也	河 竹 康 之
	長 尾 忍	平 田 典 久	奥 岐 明 美	田 井 中 夏 美
Bチーフルートセッター	平 松 幸 祐			
Bルートセッター	徳 永 一 也	平 嶋 元	坂 本 裕 樹	

## &lt;総務部&gt;

総務部長	藤 永 誠 志			
総務副部長	岡 田 慎 也	北 村 邦 子		
経理	杉 島 美 代 子	川 村 ま り	三 浦 光 次	
記録報道	森 田 光 治	安 原 知 香		
総合受付・案内	雲 義 明	木 内 義 忠	松 下 征 文	竹 村 喜 一 郎
表彰式典	中 西 光 昭	皇 甫 吏 英		
補助員引率	畦 崎 光	西 谷 明	中 嶋 啓 介	
L選手受付	西 澤 昭 彦	増 田 信 治	山 下 弓 乃	山 本 洋 子
B選手受付	坂 口 裕 子			
通信連絡員	本 郷 嘉 行	山 本 佑 紀	本 郷 礼 子	引 山 公 史
サービススマネージャー	内 藤 友 香	中 塚 智 子		
	藤 堂 保	酒 井 英 人	野 村 勝 彦	
	古 味 宏 一			

## &lt;競技部&gt;

競技部長	杉 山 将 崇			
L競技副部長	松 浦 千 佳 子			
B競技副部長	平 藤 駿 介			
L公式記録	土 野 隆 志	西 恒 平	小 西 義 幸	藤 田 貴 大
Lアイソレーション	松 岡 滋 彦	荒 木 敏 雄	大 塚 文 雄	
L監視・誘導	松 原 篤 志	吉 田 拓 哉	奥 田 伸 悟	
Lコールゾーン	北 中 英 伸	宇 野 尚 美	小 林 里 嘉	宮 崎 豊

L計測タイマー	中村修三	齊藤富司			
計測観客タイマー	植田武士	岡田磨	大森なつみ	山本伸夫	
	柿本秋男	中島宣明			
L成績入力	深谷直基	笠谷竜太	澤本伊吹		
L県名掲示	坂本健太郎				
L荷物運搬	笹川重雄	久木實			
B公式記録	山本晃司	宮林祥子			
Bアイソレーション	藤原尚人	菅俊介	北相模勉	佐々木司	
	村田里世				
B監視・誘導	小南一彦	濱田康寛	津村絵里子		
Bコールゾーン	堀江善裕	土井文雄	須藤邦裕	雪本幾子	
B計測タイマー	臼井莊嗣	岩崎昭憲			
B成績入力	北村仁司	河村みどり	北村紘大		
B県名掲示	鈴木弘市				
B荷物運搬	猪飼均	池田明美	真名子栄一		

<輸送宿泊部>					
輸送・宿泊部長	城尾与志明				
輸送・宿泊副部長	山口哲夫				
輸送・宿泊部員	森岡雄三	奥井利彦	諸岡良治	川寄信生	
	脇阪育子				
<救護>					
医療救護(医師)	小木浩孝	田中いつみ			
医療救護(看護師)	矢野宏	金澤佳子			

## (4) 競技会係員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実施本部

## (5) 競技補助員

草津東高校	加藤暖規 稻元みらい	乾暖 大西未唯	廣畑陽音	森天誠	
膳所高校	三輪空宙 一角龍輝 岡崎奏介 森一翔	安藤陽希 佐々木仁 平岡幸己 金内綾寿	高谷佳佑 井上茉優 今里遙希 山内千拓	山下仁瑚 志村早菜 尾畠陽音	
守山高校	青木紫音	上迫穂香	吉田莉子	宮本麻衣	

八幡高校	波多野絢也 末藤優奈	八田大翔 岩木詠	西森芽吹	須田栄名
東大津高校	田添翔也 安田真菜	大前柚稀 山田佳保	北川よしの	寺井百葉
	近藤優 林奏杜	伊藤柚佳 橋本悠希	南部絢音 久保悠真	小林拓壬 成末大和

## (6) 競技会補助員

総合案内係	横井千恵 横井中子	工藤妙子	津田裕美	宮本紀子
競技会場係	岩井成美 西村洋亮	西川愛 西村亜紀	村地義博 知禿雅仁	村地美江 甲津美紀子
休憩所係	井野美雪 畠中芳枝	村上攝子 西村文子	山本温子 多川千代子	辻充子 越智明子
弁当係	楠神一美 森嶋順代	浅井富士子 市田陽子	吉田まり子	古株加奈子
衛生係	久保達也 大池和成 松瀬徳之助 越智輝明	磯部美穂 鍬原義和 鳥本與志博	市岡一 赤佐和枝 尾川源太郎	安田幸司 和田三枝子 中島忠司
競技運営係	田村恵里 馬場政信	久家昌代	吉田菊香	村上保之
スポーツ推進委員	豊富智津子 犬井幸代 澤井佐知子	片岡英一 江口克幸 小野ゆり絵	森義則 廣瀬清次	澤田真由美 井口惠嗣

# 大会実施要項

## 総則

### 開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

### 実施方針

#### 1 実施競技

##### (1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレー、ボーラー、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウェイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

##### (2) 公開競技 (7 競技)

縄引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

##### (3) デモンストレーションスポーツ (26 競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、ローイングビンゴ、ソフトバレー、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパークロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレー、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

##### (4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球

#### 2 会期および会場地

##### (1) 正式競技・特別競技 (15市、4町：計19市町)

会期	会場地
2025年9月28日（日）～10月8日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年9月6日（土）～9月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレー、ボーラー（ビーチバレー、ボーラー）競技会は上記会場地で実施
2025年9月21日（日）～9月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

##### (2) 公開競技 (7市：計7市町)

会期	会場地
2025年8月23日（土）～9月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

##### (3) デモンストレーションスポーツ (13市、1町：計14市町)

会期	会場地
2025年4月12日（土）～9月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

##### (4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025年1月1日から2025年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

#### 3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

#### 4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

## 5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。  
なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

### (1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、  
日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平  
和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特  
別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申  
込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」ま  
たは「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時  
まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該當  
する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有  
する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代  
表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）  
において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会ま  
たは第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に  
よる。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を  
受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る  
選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る  
選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記 2 「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

[注] a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手  
の参加資格の特例措置」による。）

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係  
る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係  
る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ  
1 競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加するこ  
とはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帶同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナー  
は、大会参加前の 1 年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」  
という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ド  
ーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別  
指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技に  
おける対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

### (2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県か  
ら選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受  
け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第 1 条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 勤務地

(エ) 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

- の所在地
- ※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。
- [成年種別]
- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
  - b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
  - c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- [少年種別]
- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
  - b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
  - c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
  - d 别記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- (3) 選手の年齢基準
- ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。
- (ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。
  - (イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。
  - (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。
- イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。
- (4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

## 6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。
- ア 競技得点
- 競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点  
イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。  
ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。  
ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

## 7 表彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

## 8 参加申込方法

- (1) 参加申込
- 都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。
- (2) 参加申込締切
- 参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。
- (3) 参加申込締切日

締切日	競技
2025年 8月20日(水) 【12競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 9月4日(木) 【27競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレー（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

#### (4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

#### (5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

#### (6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

#### 9 異種手続

参加申込締切から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

#### 10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区分	負担金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025年9月5日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本スポーツ協会

#### 11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

#### 12 都道府県選手団本部役員編成

(1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手500名以上の場合、団長、総監督および総務ほか、計20名以内とする。

イ 参加選手300名以上500名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計15名以内とする。

ウ 参加選手300名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計10名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5) 都道府県選手団本部役員の1日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。

(6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025年9月4日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

#### 13 観察員

(1) 観察員は、1都道府県3名以内とする。ただし、2026年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県100名以内、宮崎県および長野県60名以内、群馬県および島根県40名以内とする。

(2) 都道府県の観察員の参加申込は、2025年9月4日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

#### 14 ADカードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者にはADカード（Accreditation Card）を交付する。

#### 15 参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付されたADカードを携帯しなければならない。

(2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

## 16 個人情報および肖像権に関する取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポーツ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

### (1) 個人情報の取り扱い

#### ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポーツ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

#### イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

##### (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

##### (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

##### (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

##### (エ) 大会関連ホームページへの掲載

##### (オ) 報道機関への提供

#### ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

##### (ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

##### (イ) 国スポーツ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

##### (ウ) 国スポーツ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

##### (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

### (2) 肖像権に関する取り扱い

#### ア 写真

国スポーツ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

#### イ 写真（写真撮影企業等）

国スポーツ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

#### ウ 映像

国スポーツ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

### (3) 対応

#### ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

#### イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポーツ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

## 17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

### (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

### (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

### (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

### (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

### (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

### (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

### (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

## 18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

### (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、観察員ならびにその他選手団役員とする。

### (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。

### (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

## 19 わたSHIGA 輝く国スポの取組

### (1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

### (2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

### (3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

## 20 その他

### (1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

### (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

### (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

## 別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

### 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

#### (1) 居住地を示す現住所

#### (2) 勤務地

#### (3) ふるさと

### 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

### ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

### 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年

の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

### 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

### 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

### 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

### 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

## 別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

### 転校への特例

### 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)）に抵触しないものとする。

#### (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

#### (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。 なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

##### ア 親の転勤による一家の転居

##### イ 親の結婚、離婚による一家の転居

##### ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

#### (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

##### ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

##### イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

### 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

#### (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

##### ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

##### イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

##### ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

#### (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

##### ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

### 別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

#### 1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

#### 2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2) - ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

#### 3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

#### 4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

#### 5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOCエリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

### 別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

#### 1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。

(2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者  
ア JOCオリンピック強化指定選手  
イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者  
ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手  
※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

#### 2 特例の内容

##### (1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

##### (2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

###### ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

###### イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

#### 3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1) - ③のとおりとする。

### 別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

#### 1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

## 2 特例の内容

### (1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていくなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

#### 【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

### (2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

#### 【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ア）2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

（イ）移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていくなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

### ＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

### (3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

#### 【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

## 別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

### 1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

### 2 特例の内容

#### (1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていくなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

#### 【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

## 実施要項

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

**【特例の対象者】**

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- (ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。
- (イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていくなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-(3)(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- <例>
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
- 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
- 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

**【特例の対象者】**

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

**1 期 日 2025年10月3日(金)から10月5日(日)まで(3日間)**

種 別	10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)
成年男子	ボルダー予選 ボルダー決勝	リード予選	リード決勝
成年女子	ボルダー予選	リード予選	ボルダー決勝 リード決勝
少年男子	リード予選	ボルダー予選	リード決勝 ボルダー決勝
少年女子	リード予選	ボルダー予選 ボルダー決勝	リード決勝

**2 会 場 竜王町 竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場(リード・ボルダー)**

**3 種 別(種目) および参加人員**

種 別	種 目	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合計(人)
成年男子	リード ボルダー	1	2	26	78	309
成年女子	リード ボルダー	1	2	26	78	
少年男子	リード ボルダー	1	2	26	78	
少年女子	リード ボルダー	1	2	25	75	

**4 競技上の規程および方法**

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が定めた現行の競技規則による。

**5 予選方法**

- (1) 都道府県大会は、都道府県を代表して公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会に加盟している山岳(スポーツクライミング)連盟(協会)が主管して実施する。
- (2) 都道府県連盟(協会)は、種別ごとにブロック大会に出場する代表1チームを決定する。
- (3) ブロック大会主管連盟(協会)は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定する。ただし、下記(4)で定める各ブロック大会区分の都道府県数と代表チーム数が同数の種別については、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。  
成年男子(北海道、関東、東海、開催県) 成年女子(北海道、四国、九州、開催県)  
少年男子(北海道、東北、北信越、開催県) 少年女子(北海道、近畿、中国、開催県)

(4) ブロック大会区分および代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	6	2
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	8	3	2	3
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	5	2
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	4	1	2	2
近畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	2	5
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	2	5
四国	香川、徳島、愛媛、高知	1	4	2	1
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	8	3	3
開催県	滋賀	1	1	1	1
	計	26	26	26	25

## 6 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 少年種別に参加できる選手は、2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた中学3年生を含む。
- (2) 選手と監督の兼任は認めない。
- (3) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認スポーツクライミングコーチ1、公認スポーツクライミングコーチ2、公認スポーツクライミングコーチ3、公認スポーツクライミングコーチ4のいずれかの資格を有していなければならない。

## 7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第1位から第8位までを決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

### (1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子	成年女子	各種目とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。
成年女子	成年男子	ただし、同点の場合は、当該都道府県でその順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点については、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。
少年男子	少年女子	
少年女子	少年男子	

### (2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

## 8 表彰

- (1) 男女総合成績および女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 種別ごとに各種目の第1位から第8位までの都道府県に、賞状を授与する。賞状は、その都道府県名とチーム全員(監督も含む。)の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらに同様のものをチーム全員に授与する。

## 9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を記入の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025年9月4日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (1) 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので締切期限を厳守すること。
- (1) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病・傷害等特別な場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。  
なお、選手が「国民スポーツ大会予選会免除に関する要領」に基づく本協会が指定する世界選手権大会等の国際競技大会に出場する場合は、選手変更を認める  
ア 提出期限 監督会議前まで  
イ 提出先  
(ア) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 905  
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会  
TEL 03-5843-1631 FAX 03-5843-1635

(イ) 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号  
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局  
(滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係)  
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836  
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp

(ウ) 〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地  
わた S H I G A 輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会事務局  
(竜王町教育委員会事務局生涯学習課国スポ推進室)  
TEL 0748-58-3711 FAX 0748-58-2655  
MAIL ryuoh.kokusupo@town.ryuoh.shiga.jp

なお、(イ)(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

## 10 その他

- (1) 組合せ抽選会  
日時 2025年9月6日（土）午後2時  
場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
TEL 03-5843-1631 FAX 03-5843-1635

- (2) 競技役員全体会議  
日時 2025年10月2日（木）午後1時10分  
場所 竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場  
〒520-2541 滋賀県蒲生郡竜王町大字岡屋3282番地  
TEL 0748-58-0111 FAX 0748-58-3149

## 競 技 日 程

(3) 大会会長トロフィー返還式・監督会議

日 時 2025年10月2日(木) 午後5時

場 所 亀山市文化会館

〒519-0124 三重県亀山市東御幸町63番地

TEL 0595-82-7111

竜王町

(4) 総合成績計算委員会

日 時 2025年10月5日(日) 午後4時40分

場 所 竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場

〒520-2541 滋賀県蒲生郡竜王町大字岡屋3282番地

TEL 0748-58-0111 FAX 0748-58-3149

(5) 総合表彰式

日 時 2025年10月5日(日) 午後5時30分

場 所 竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場

〒520-2541 滋賀県蒲生郡竜王町大字岡屋3282番地

TEL 0748-58-0111 FAX 0748-58-3149

競技役員全体会議	10月2日(木) 13時10分～13時30分	竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場
監督会議	10月2日(木) 17時20分～17時40分	亀山市文化会館

日	前 日	第1日目	第2日目	第3日目
	10月2日(木)	10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)
成年男子	ボルダーカラーリング(B) 予選 9:00～11:33	リード競技(L) 予選 11:30～16:46	リード競技(L) 決勝 9:50～10:40	
	ボルダーカラーリング(B) 決勝 17:10～18:20			
	選手・監督受付 16:00～16:50 亀山市文化会館	ボルダーカラーリング(B) 予選 13:10～15:43	リード競技(L) 予選 11:30～16:46	ボルダーカラーリング(B) 決勝 10:50～12:00
成年女子	大会会長 トロフィー返還式 17:00～17:15	リード競技(L) 予選 11:30～16:46	リード競技(L) 決勝 14:50～15:40	リード競技(L) 決勝 10:50～12:00
	トロフィー返還式 17:20～17:40 亀山市文化会館	リード競技(L) 予選 11:30～16:46	ボルダーカラーリング(B) 予選 13:10～15:43	リード競技(L) 決勝 14:50～15:40
少年男子	監督会議 17:20～17:40 亀山市文化会館	リード競技(L) 予選 11:30～16:35	ボルダーカラーリング(B) 予選 9:00～11:27	リード競技(L) 決勝 15:50～16:40
	トロフィー返還式 17:20～17:40 亀山市文化会館	リード競技(L) 決勝 17:10～18:20	ボルダーカラーリング(B) 決勝 17:10～18:20	ボルダーカラーリング(B) 決勝 13:50～15:00
少年女子	監督会議 17:20～17:40 亀山市文化会館	リード競技(L) 予選 11:30～16:35	ボルダーカラーリング(B) 決勝 17:10～18:20	リード競技(L) 決勝 15:50～16:40
	トロフィー返還式 17:20～17:40 亀山市文化会館	リード競技(L) 決勝 17:10～18:20	ボルダーカラーリング(B) 決勝 17:10～18:20	ボルダーカラーリング(B) 決勝 13:50～15:00

総合成績計算委員会	10月5日(日) 16時40分～16時50分	竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場
総合表彰式	10月5日(日) 17時30分～18時00分	竜王町総合運動公園 スポーツクライミング特設会場

# 大会会長トロフィー返還式・監督会議

開催日 令和7年10月2日(木)  
 会場 三重県亀山市文化会館  
 受付時間 16時00分～16時50分  
 開催時間 17時00分～17時40分  
 出席者 監督、競技会役員、競技役員、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会  
 次第

～大会会長トロフィー返還式～

1. 開式通告
2. 大会会長トロフィー返還
3. レプリカ授与
4. 挨拶
  - (1) 競技会会長 町田 幸夫
  - (2) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会会長 西田 秀治
  - (3) 競技会副会長 澤山 恵
5. 競技開始宣言
6. 閉式通告

～監督会議～

1. 開会
2. あいさつ
3. 出席者紹介
4. 議事
  - (1) 競技審判について
  - (2) 競技運営について
  - (3) 各競技について
5. 質疑応答
6. 閉会
7. 諸連絡

# 種目別表彰式

会場 竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場、種目別表彰式会場  
 出席者 選手・監督、競技会役員、競技役員  
 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会  
 次第
 

1. 開式通告
2. 成績発表
3. 賞状、メダル(記念品)授与
4. わたSHIGA輝く賞授与
5. 閉式通告

開催日	期日	種別	種目	時間
	10月3日(金)	成年男子	ボルダー	18時40分～19時00分
	10月4日(土)	少年女子	ボルダー	18時40分～19時00分
10月5日(日)	成年男子	リード		11時00分～11時30分
	少年男子	リード		
	成年女子	ボルダー		12時20分～12時40分
	少年男子	ボルダー		15時50分～16時10分
	成年女子	リード		
	少年女子	リード		17時00分～17時30分

# 総合表彰式

開催日 令和7年10月5日(日)  
 会場 竜王町総合運動公園スポーツクライミング特設会場、ボルダー会場  
 開催時間 17時30分～18時00分  
 出席者 選手、監督、競技会役員、競技役員  
 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会  
 次第
 

1. 開式通告
2. 審判長講評
3. 成績発表
4. 表彰状授与
5. 大会会長トロフィー授与
6. 大会会長あいさつ
7. 歓送のことば
8. 日本山岳・スポーツクライミング協会旗引き継ぎ
9. 次期開催県山岳連盟(会長)あいさつ
10. 国旗・大会旗・日本山岳・スポーツクライミング協会旗儀礼
11. 競技会終了宣言
12. 閉式通告

# 競技の見方

スポーツクライミング競技会は、2名で1チームの団体競技です。競技は「リード競技」と「ボルダー競技」の2種目があり、2名がそれぞれ2種目を競技し、種目ごとにチーム順位をつけて競います。

## リード競技



### ●競技概要

高さ12m以上、幅3m以上のクライミングウォール（人工壁）にルートセッターにより設定されたルートを登り、所定の時間内に到達した高さで順位が決まります。ルートを作成するために使用するホールド数は最大55～60個ほどで、途中の支点にロープをかけ安全を確保しながら登り、トップホールドに到達して最後の支点にロープをかけると「完登」となります。持久力が勝敗を分けるため、疲労をためない効率的な動きが結果を左右します。

### ●競技の進め方

選手全員が、競技の前に6分間だけルートを観察する「オブザベーション（下見）」を行います。その間にどう攻略するか考えなければなりません。予選においては、他の選手の登りを見ることや、予め撮影したデモンストレーションビデオを見ることができるフラッシュ方式が採用されています。決勝においては、他の選手の登りを見ることや外部との連絡によって情報を得ることは一切できないオンサイト方式で本番を待ちます。制限時間（6分）の間にスタートホールドから、トップホールド（終了点のホールド）まで登り、最後の支点にロープをかけば「完登」となります。途中で落下した場合は、その到達高度で終了となります。

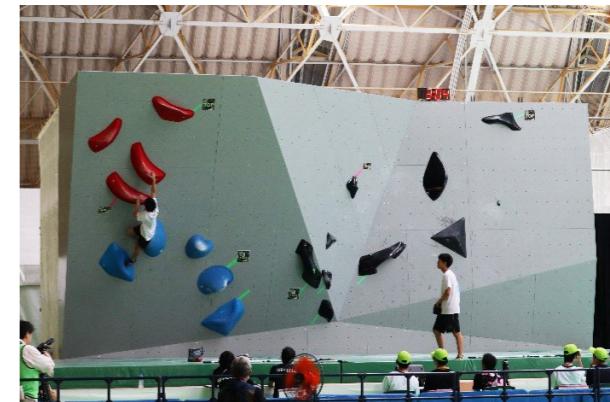
### ●順位の決定方法

それぞれの選手の到達高度から個人順位を算出し、2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

#### クライミング用語の解説

- ◇「ルートセッター」ウォールにホールドを取付、選手が登るルートを作成する人を指します。
- ◇「ホールド」壁から突起した手掛かり、足掛けとなるもの。色や形も多種多様。持ちやすいもの、持ちづらいものがあり、これで課題の難しさを演出します。
- ◇「ハーネス」ロープを結ぶ安全ベルトのこと。
- ◇「課題」人工壁にホールドで構成された登るためのコースのこと。
- ◇「グレード」課題の難易度。ボルダーにおいて日本では主に段級位制が使われ、初級者の方は8～7級からで数が減ることで難易度が上がります。1級の次は初段、二段と段数が増えていきます。リードでは11, 12, 13...と数字が大きくなると難しくなり、更に数字にa～dが付き11aよりも11dの方が難易度が高くなります。
- ◇「フラッシュ方式」下見をしたうえで登ること。
- ◇「オンサイト方式」初めて見たコースを一度で完登すること。

## ボルダー競技



### ●競技概要

ボルダー競技は、高さ5m以下、幅6m程度のクライミングウォール2基（壁の傾斜や形状が異なる4面）の壁に取り付けられたホールドで構成される4つの課題をいくつ「完登」できるかを競います。リードクライミング競技（リード競技）と異なりロープを使わないので、地面には落下時の衝撃を緩衝するマットを敷いて競技を行います。

### ●競技の進め方

国スポでは1チーム2人1組で行います。中央から左に1基2課題、右に1基2課題が設定されており、2名の選手は、制限時間（5分間）の中でまず左側2課題を登ります。休憩を挟んで右側の2基目の2課題を同様に5分間で登ります。スタートホールドは、それぞれの課題によって異なる配置となっており、4点支持（四肢）によってスタートを切ります。トップホールドに両手で触れて姿勢を安定させれば「完登」となります。

### ●順位の決定方法

スタートのホールドから、終了点のホールドを両手で保持出来れば「完登」となります。完登が出来なくても、途中に設定してあるゾーンポイントのホールドを保持することによってゾーンポイントを得ることが出来ます。制限時間内であれば、途中で落ちても何度も挑むこと（アテンプトすること）が出来ますが、同じ完登でもアテンプト数が少ないほど優位になります。チームの選手2名が4つの課題を登り、獲得した「完登数」「ゾーンポイント数」で順位が決まります。2名の個人順位を相乗し、その値が小さいチームが上位となります。

### ●特徴

ボルダー競技は、課題ごとに様々な動きが要求され、選手は瞬時の判断力と対応力が求められます。また、チームの選手同士で相談したり、登った選手がアドバイスすることもできるため、チーム力も必要になります。

## 種目別編成表

## 都道府県別参加人員一覧表

成年男子	1	2	4	8	9	10	11	12	13	14	15	16	20	21	22	23	24	25	27	29	26チーム			
	北海道	青森県	宮城県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	新潟県	福井県	静岡県	愛知県	三重県	岐阜県	滋賀県	大阪府	奈良県				
31	35	38	40	41	46	(略)																		
鳥取県	山口県	愛媛県	福岡県	佐賀県	鹿児島県	(略)																		
成年女子	1	3	7	11	12	13	16	17	22	25	27	29	31	35	36	37	38	39	40	41	26チーム			
	北海道	岩手県	福島県	埼玉県	千葉県	東京都	新潟県	長野県	愛知県	滋賀県	大阪府	奈良県	鳥取県	山口県	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県				
42	43	44	45	46	47	(略)																		
長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	(略)																		
少年男子	1	2	3	4	5	6	7	13	14	16	17	18	19	20	22	23	25	28	29	31	26チーム			
	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東京都	神奈川県	新潟県	長野県	富山県	石川県	福井県	愛知県	三重県	滋賀県	兵庫県	奈良県	鳥取県				
35	37	39	40	41	44	(略)																		
山口県	徳島県	高知県	福岡県	佐賀県	大分県	(略)																		
少年女子	1	3	4	9	12	13	17	20	21	23	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	25チーム			
	北海道	岩手県	宮城県	栃木県	千葉県	東京都	長野県	福井県	静岡県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山县	鳥取県	島根県	岡山県	広島県				
35	37	40	41	42	(略)																			
山口県	徳島県	福岡県	佐賀県	長崎県	(略)																			

地区	番号	都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		合計		総計
			監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	監督	選手	
東北	1	北海道	2	1	2	1	2	4	8	12	4	8	12
	2	青森県			1	2			2	4	6	2	6
	3	岩手県	2	1	2	1	2	3	6	9	3	6	9
	4	宮城県			1	2	1	2	3	6	9	3	9
	5	秋田県			1	2			1	2	3	1	3
	6	山形県			1	2			1	2	3	1	3
	7	福島県	2	1	2				2	4	6	2	6
関東	8	茨城県							1	2	3	1	2
	9	栃木県					1	2	4	6	2	4	6
	10	群馬県							1	2	3	1	2
	11	埼玉県	2						2	4	6	2	6
	12	千葉県	2				1	2	3	6	9	3	9
北信越	13	東京都	2	1	2	1	2	4	8	12	4	8	12
	14	神奈川県			1	2			2	4	6	2	6
	15	山梨県							1	2	3	1	2
	16	新潟県	2	1	2				3	6	9	3	6
	17	長野県	2	1	2	1	2	3	6	9	3	6	9
東海	18	富山県			1	2			1	2	3	1	2
	19	石川県			1	2			1	2	3	1	2
	20	福井県			1	2	1	2	3	6	9	3	6
	21	静岡県					1	2	2	4	6	2	6
	22	愛知県	2	1	2				3	6	9	3	6
近畿	23	三重県			1	2	1	2	3	6	9	3	6
	24	岐阜県							1	2	3	1	2
	25	滋賀県	2	1	2	1	2	4	8	12	4	8	12
	26	京都府					1	2	1	2	3	1	2
	27	大阪府	2				1	2	3	6	9	3	6
中国	28	兵庫県			1	2	1	2	2	4	6	2	6
	29	奈良県	2	1	2	1	2	4	8	12	4	8	12
	30	和歌山县					1	2	1	2	3	1	2
	31	鳥取県	2	1	2	1	2	4	8	12	4	8	12
	32	島根県					1	2	1	2	3	1	2
四国	33	岡山県					1	2	1	2	3	1	2
	34	広島県					1	2	1	2	3	1	2
	35	山口県	2	1	2	1	2	4	8	12	4	8	12
	36	香川県	2						1	2	3	1	2
	37	徳島県	2	1	2	1	2	3	6	9	3	6	9
九州	38</td												

## スポーツクライミング競技 組合せ表

## スポーツクライミング競技 組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

成年男子									
	10月3日(金)		10月4日(土)				10月5日(日)		
	ボルダー 予選	ボルダー 決勝	リード予選				リード 決勝		
受付開始	7:00	15:20	9:30				7:50		
受付終了	7:30	15:50	10:30				8:20		
オブザベーション・選手紹介	8:45	16:45	—				9:42		
競技開始	9:00	17:10	11:30				9:50		
競技順		競技順	競技順A		競技順B		競技順		
1	栃木県	1	埼玉県	-1	27	群馬県	-2	1	2
2	福岡県	2	山梨県	-1	28	静岡県	-2	2	28
3	神奈川県	3	愛知県	-1	29	福岡県	-2	3	29
4	佐賀県	4	茨城県	-1	30	千葉県	-2	4	30
5	新潟県	5	北海道	-1	31	栃木県	-2	5	31
6	茨城県	6	岐阜県	-1	32	鳥取県	-2	6	32
7	千葉県	7	新潟県	-1	33	東京都	-2	7	33
8	滋賀県	8	福井県	-1	34	神奈川県	-2	8	34
9	三重県	9	愛媛県	-1	35	滋賀県	-2	9	35
10	鳥取県	10	青森県	-1	36	鹿児島県	-2	10	36
11	福井県	11	山口県	-1	37	三重県	-2	11	37
12	東京都	12	大阪府	-1	38	宮城県	-2	12	38
13	山梨県	13	奈良県	-1	39	佐賀県	-2	13	39
14	青森県	14	群馬県	-1	40	埼玉県	-2	14	40
15	埼玉県	15	静岡県	-1	41	山梨県	-2	15	41
16	奈良県	16	福岡県	-1	42	愛知県	-2	16	42
17	静岡県	17	千葉県	-1	43	茨城県	-2	17	43
18	群馬県	18	栃木県	-1	44	北海道	-2	18	44
19	鹿児島県	19	鳥取県	-1	45	岐阜県	-2	19	45
20	山口県	20	東京都	-1	46	新潟県	-2	20	46
21	愛知県	21	神奈川県	-1	47	福井県	-2	21	47
22	愛媛県	22	滋賀県	-1	48	愛媛県	-2	22	48
23	大阪府	23	鹿児島県	-1	49	青森県	-2	23	49
24	宮城県	24	三重県	-1	50	青森県	-2	24	50
25	岐阜県	25	宮城県	-1	51	大阪府	-2	25	51
26	北海道	26	佐賀県	-1	52	奈良県	-2	26	52

種目別組合せ表（競技順）

成年女子									
	10月3日(金)		10月4日(土)				10月5日(日)		
	ボルダー 予選	ボルダー 決勝	リード予選				ボルダー 決勝		
受付開始	7:00	15:20	9:30				7:50		
受付終了	7:30	15:50	10:30				8:20		
オブザベーション・選手紹介	8:45	16:45	—				9:42		
競技開始	9:00	17:10	11:30				9:50		
競技順		競技順	競技順A		競技順B		競技順		
1	山口県	1	大阪府	-1	27	長野県	-2	1	27
2	沖縄県	2	奈良県	-1	28	岩手県	-2	2	28
3	岩手県	3	山口県	-1	29	福島県	-2	3	29
4	宮崎県	4	宮崎県	-1	30	愛知県	-2	4	30
5	愛媛県	5	徳島県	-1	31	東京都	-2	5	31
6	鳥取県	6	滋賀県	-1	32	熊本県	-2	6	32
7	福島県	7	北海道	-1	33	鹿児島県	-2	7	33
8	滋賀県	8	大分県	-1	34	埼玉県	-2	8	34
9	三重県	9	滋賀県	-1	35	沖縄県	-2	9	35
10	鳥取県	10	長崎県	-1	36	北海道	-2	10	36
11	福井県	11	佐賀県	-1	37	高知県	-2	11	37
12	東京都	12	長野県	-1	38	新潟県	-2	12	38
13	山梨県	13	高知県	-1	39	宮崎県	-2	13	39
14	奈良県	14	愛媛県	-1	40	香川県	-2	14	40
15	青森県	15	熊本県	-1	41	福岡県	-2	15	41
16	群馬県	16	岩手県	-1	42	長野県	-2	16	42
17	埼玉県	17	東京都	-1	43	高知県	-2	17	43
18	奈良県	18	佐賀県	-1	44	新潟県	-2	18	44
19	静岡県	19	福島県	-1	45	宮崎県	-2	19	45
20	千葉県	20	鹿児島県	-1	46	愛媛県	-2	20	46
21	福井県	21	大分県	-1	47	東京都	-2	21	47
22	滋賀県	22	沖縄県	-1	48	鹿児島県	-2	22	48
23	三重県	23	北海道	-1	49	長崎県	-2	23	49
24	宮城県	24	高知県	-1	50	佐賀県	-2	24	50
25	岐阜県	25	新潟県	-1	51	千葉県	-2	25	51
26	北海道	26	香川県	-1	52	福岡県	-2	26	52

## スポーツクライミング競技 組合せ表

## スポーツクライミング競技 組合せ表

種目別組合せ表（競技順）

少年男子											
	10月3日(金)				10月4日(土)		10月5日(日)				
	リード予選				ボルダー 予選		リード 決勝	ボルダー 決勝			
受付開始	9:30				11:10		6:50	11:50			
受付終了	10:30				11:40		7:50	12:20			
オブザベーション・選手紹介	—				12:55		8:30	13:35			
競技開始	11:30				13:10		8:50	13:50			
組合せ	競技順A			競技順B			競技順	競技順	競技順		
	1 秋田県	- 1 27	長野県	- 2 1	長野県	- 2 27	秋田県	- 1 1	宮城県	1 1	予選成績により
	2 兵庫県	- 1 28	富山県	- 2 2	富山県	- 2 28	兵庫県	- 1 2	石川県	2 2	予選成績により
	3 石川県	- 1 29	大分県	- 2 3	大分県	- 2 29	石川県	- 1 3	徳島県	3 3	予選成績により
	4 山形県	- 1 30	青森県	- 2 4	青森県	- 2 30	山形県	- 1 4	長野県	4 4	予選成績により
	5 新潟県	- 1 31	徳島県	- 2 5	徳島県	- 2 31	新潟県	- 1 5	兵庫県	5 5	予選成績により
	6 岩手県	- 1 32	佐賀県	- 2 6	佐賀県	- 2 32	岩手県	- 1 6	富山県	6 6	予選成績により
	7 愛知県	- 1 33	福井県	- 2 7	福井県	- 2 33	愛知県	- 1 7	岩手県	7 7	予選成績により
	8 東京都	- 1 34	高知県	- 2 8	高知県	- 2 34	東京都	- 1 8	秋田県	8 8	予選成績により
	9 鳥取県	- 1 35	福岡県	- 2 9	福岡県	- 2 35	鳥取県	- 1 9	滋賀県		
	10 滋賀県	- 1 36	奈良県	- 2 10	奈良県	- 2 36	滋賀県	- 1 10	東京都		
	11 三重県	- 1 37	北海道	- 2 11	北海道	- 2 37	三重県	- 1 11	北海道		
	12 神奈川県	- 1 38	山口県	- 2 12	山口県	- 2 38	神奈川県	- 1 12	山口県		
	13 福島県	- 1 39	宮城県	- 2 13	宮城県	- 2 39	福島県	- 1 13	大分県		
	14 長野県	- 1 40	秋田県	- 2 14	秋田県	- 2 40	長野県	- 1 14	青森県		
	15 富山県	- 1 41	兵庫県	- 2 15	兵庫県	- 2 41	富山県	- 1 15	三重県		
	16 大分県	- 1 42	石川県	- 2 16	石川県	- 2 42	大分県	- 1 16	愛知県		
	17 青森県	- 1 43	山形県	- 2 17	山形県	- 2 43	青森県	- 1 17	山形県		
	18 徳島県	- 1 44	新潟県	- 2 18	新潟県	- 2 44	徳島県	- 1 18	福岡県		
	19 佐賀県	- 1 45	岩手県	- 2 19	岩手県	- 2 45	佐賀県	- 1 19	福島県		
	20 福井県	- 1 46	愛知県	- 2 20	愛知県	- 2 46	福井県	- 1 20	高知県		
	21 高知県	- 1 47	東京都	- 2 21	東京都	- 2 47	高知県	- 1 21	佐賀県		
	22 福岡県	- 1 48	鳥取県	- 2 22	鳥取県	- 2 48	福岡県	- 1 22	奈良県		
	23 奈良県	- 1 49	滋賀県	- 2 23	滋賀県	- 2 49	奈良県	- 1 23	新潟県		
	24 北海道	- 1 50	三重県	- 2 24	三重県	- 2 50	北海道	- 1 24	神奈川県		
	25 山口県	- 1 51	神奈川県	- 2 25	神奈川県	- 2 51	山口県	- 1 25	鳥取県		
	26 宮城県	- 1 52	福島県	- 2 26	福島県	- 2 52	宮城県	- 1 26	福井県		

種目別組合せ表（競技順）

少年女子											
	10月3日(金)				10月4日(土)			10月5日(日)			
	リード予選				ボルダー 予選			ボルダー 決勝			ボルダー 決勝
受付開始	9:30				11:10			7:00			15:10
受付終了	10:30				11:40			7:30			13:50
オブザベーション・選手紹介	—				12:55			8:45			16:55
競技開始	11:30				13:10			9:00			15:50
組合せ	競技順A				競技順B			競技順	競技順	競技順	競技順
	1 佐賀県	- 1 27	長野県	- 2 1	長野県	- 2 27	佐賀県	- 1 1	徳島県	1 1	予選成績により
	2 静岡県	- 1 28	宮城県	- 2 2	宮城県	- 2 28	静岡県	- 1 2	大阪府	2 2	予選成績により
	3 和歌山県	- 1 29	兵庫県	- 2 3	兵庫県	- 2 29	和歌山県	- 1 3	岡山県	3 3	予選成績により
	4 大阪府	- 1 30	滋賀県	- 2 4	滋賀県	- 2 30	大阪府	- 1 4	福井県	4 4	予選成績により
	5 東京都	- 1 31	栃木県	- 2 5	栃木県	- 2 31	東京都	- 1 5	宮城県	5 5	予選成績により
	6 三重県	- 1 32	岡山県	- 2 6	岡山県	- 2 32	三重県	- 1 6	広島県	6 6	予選成績により
	7 奈良県	- 1 33	鳥取県	- 2 7	鳥取県	- 2 33	奈良県	- 1 7	栃木県	7 7	予選成績により
	8 広島県	- 1 34	京都府	- 2 8	京都府	- 2 34	広島県	- 1 8	山口県	8 8	予選成績により
	9 福岡県	- 1 35	徳島県	- 2 9	徳島県	- 2 35	福岡県	- 1 9	京都府		
	10 千葉県	- 1 36	長崎県	- 2 10	長崎県	- 2 36	千葉県	- 1 10	和歌山県		
	11 山口県	- 1 37	岩手県	- 2 11	岩手県	- 2 37	山口県	- 1 11	北海道		
	12 北海道	- 1 38	島根県	- 2 12	島根県	- 2 38	北海道	- 1 12	鳥取県		
	13 長野県	- 1 39	福井県	- 2 13	福井県	- 2 39	長野県	- 1 13	福岡県		
	14 宮城県	- 1 40	佐賀県	- 2 14	佐賀県	- 2 40	宮城県	- 1 14	長崎県		
	15 兵庫県	- 1 41	静岡県	- 2 15	静岡県	- 2 41	兵庫県	- 1 15	千葉県		
	16 滋賀県	- 1 42	和歌山県	- 2 16	和歌山県	- 2 42	滋賀県	- 1 16	兵庫県		
	17 栃木県	- 1 43	大阪府	- 2 17	大阪府	- 2 43	栃木県	- 1 17	長野県		
	18 岡山県	- 1 44	東京都	- 2 18	東京都	- 2 44	岡山県	- 1 18	静岡県		
	19 鳥取県	- 1 45	三重県	- 2 19	三重県	- 2 45	鳥取県	- 1 19	佐賀県		
	20 京都府	- 1 46	奈良県	- 2 20	奈良県	-					

## 参加選手・監督一覧表

【成年男子】

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
1 北海道	◎ 山納 秀俊 1 坂本 大河 2 竹内 悠真	北海道室蘭栄高等学校 (教) 北海道山岳・スポーツクラブイミング連盟 北海道警察
2 青森県	◎ 寺沢 寿朗 1 松沢 修斗 2 浦崎 宏也	ストラグル 青森県山岳連盟 ストラグル
4 宮城県	◎ 竹田 知広 1 佐々木 美怜 2 竹田 創	東北大大学 東北文化学園大学 有限会社フロンティアスピリツ
8 茨城県	◎ 広畠 裕士 1 田中 慧樹 2 大金 瑞生	ヤマト科学株式会社 早稲田大学 流通経済大学
9 栃木県	◎ 藤沼 秀行 1 川又 玲瑛 2 関口 準太	(一社)栃木県山岳・スポーツクラブイミング連盟 日本大学 日本大学
10 群馬県	◎ 滝口 誠人 1 星 優輝 2 中村 恵旺矢	群馬県立西邑楽高等学校 (教) GNホールディングス株式会社 立教大学
11 埼玉県	◎ 池田 俊吾 1 百合カサ 碧皇 2 猪鼻 碧人	株式会社 Base Camp 日新火災海上保険株式会社 武蔵大学
12 千葉県	◎ 近藤 哲史 1 村下 善乙 2 石見 友一	千葉県立生涯高等学校 (教) 法政大学 東海大学
13 東京都	◎ 大高 伽弥 1 鷹見 真洋 2 上村 悠樹	株式会社Base Camp 日本大学 日本大学
14 神奈川県	◎ 大谷 拓海 1 角田 晃 2 大塩 航生	株式会社ペネッセコーポレーション 東海大学 東海大学
15 山梨県	◎ 樽林 秀倫 1 小林 信哉 2 渡邊 雄太	ファンック株式会社 山梨県山岳連盟 ファンック株式会社
16 新潟県	◎ 田中 勉 1 田中 修太 2 渡辺 鳩海	新潟県山岳協会 ディーボルダリング立川 新潟大学
20 福井県	◎ 佐伯 和真 1 榎崎 明智 2 天笠 鳩太	日栄商事株式会社 福井県山岳連盟 東洋染工株式会社

◎印・・・監督

## 参加選手・監督一覧表

【成年女子】

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
21 静岡県	◎ 伊藤 裕貴 1 藤井 快 2 鈴木 音生	CRAGクライミングジム 無所属 静岡県立大学
22 愛知県	◎ 伊藤 孝雄 1 佐野 大輝 2 今井 遙音	愛知県山岳・スポーツクラブイミング連盟 Dボル・大器グループ 至学館大学
23 三重県	◎ 下總 彰仁 1 渡部 桂太 2 杉本 侑翼	CLIMBING SCHOOL HACHUWALL 三重県山岳・スポーツクラブイミング連盟 近畿大学工業高等専門学校
24 岐阜県	◎ 島津 雅一 1 森本 治誉 2 竹中 翔	各務原市役所 クライミングジム&コンディショニングAIDPIT 岐阜県山岳連盟
25 滋賀県	◎ 土谷 祐輝 1 亀山 凌平 2 橋山 純乃介	京栄ニチユ株式会社 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校
27 大阪府	◎ 山田 航 1 藤脇 祐二 2 辻本 匠	ヤマテック・クライミング CRUX大阪 阪南大学
29 奈良県	◎ 岡本 季大 1 吉田 智音 2 拠井 亮瑛	奈良県山岳連盟 摂南大学 摂南大学
31 鳥取県	◎ 桑本 洋志 1 高田 知堯 2 河上 紘輝	株式会社JA中央サービス琴浦自動車センター 公益財団法人鳥取県スポーツ協会 公益財団法人鳥取県スポーツ協会
35 山口県	◎ 鹿野 慶行 1 石津 元崇 2 村田 晃輝	山口県山岳・スポーツクラブイミング連盟 周南公立大学 福岡市消防局
38 愛媛県	◎ 青木 亮二 1 清水 裕登 2 片岡 未来	アスリートサポートジャパン 愛媛県競技力向上対策本部 摂南大学
40 福岡県	◎ 江上 泰浩 1 緒方 良行 2 緒方 万佐也	(株)タカギ 株ホリプロ (公財)福岡県スポーツ協会
41 佐賀県	◎ 平川 直徳 1 橋口 純裕 2 通谷 律	唐津郵便局かんぽサービス部 クライミングジム 「PUMP2」 佐賀県山岳・スポーツクラブイミング連盟
46 鹿児島県	◎ 江口 智 1 土肥 圭太 2 川畑 イサム	鹿児島県立出水高等学校 (教) 鹿児島県山岳・スポーツクラブイミング連盟 鹿児島県山岳・スポーツクラブイミング連盟

◎印・・・監督

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
1 北海道	◎ 高野 綾子 1 菊地 小百合 2 鈴木 花歩	HOMIE 北海道山岳・スポーツクラブイミング連盟 北海道山岳・スポーツクラブイミング連盟
3 岩手県	◎ 長谷川 健太 1 三角 唯香 2 中村 暖	岩手県予防医学協会 岩手県山岳・スポーツクラブイミング協会 岩手県立大学
7 福島県	◎ 國分 一樹 1 滝口 萌 2 氏家 沙耶香	MOVEMENT Climbing Space 株式会社サンキュー 公益財団法人星総合病院
11 埼玉県	◎ 川端 久美子 1 小池 はな 2 大澤 莉花	株式会社鷺宮製作所 日本大学 戸田中央看護専門学校
12 千葉県	◎ 阿部 雅史 1 久米 乃ノ華 2 竹内口 亜衣	千葉県立幕張総合高等学校 (教) TOKIOインカラミ 筑波大学
13 東京都	◎ 中村 真緒 1 平野 夏海 2 青柳 未愛	日新火災海上保険株式会社 Top Out Human Capital株式会社 日本大学
16 新潟県	◎ 栗田 陽輔 1 栗田 湖有 2 小林 夏寧	有限会社広和建設 新潟県山岳協会 新潟日建工科専門学校
17 長野県	◎ 橋詰 正興 1 三森 里子 2 中嶋 謙	有(株)鳥喜代 エッジ&ソファー伊那クラウドランダード 神奈川大学
22 愛知県	◎ 有川 紗菜 1 倉 菜々子 2 高尾 知那	至学館大学 新東工業株式会社 中京大学
25 滋賀県	◎ 坪野 明日香 1 石井 未来 2 張替 夢乃	一般財団法人近畿健康管理センター 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 公益財団法人滋賀県スポーツ協会
27 大阪府	◎ 堀 智忠 1 中川 瑠 2 小山 芹菜	株式会社中野自動車 日本大学 関西ビューティプロ専門学校
29 奈良県	◎ 拠井 英嗣 1 小倉 紗奈 2 拠井 美緒	太洋エンジニアリング株式会社 同志社大学 摂南大学
31 鳥取県	◎ 福田 宗次郎 1 高田 こころ 2 多月 萌々菜	自営業 キャノンITソリューションズ株式会社 鳥取環境大学

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
35 山口県	◎ 山縣 茜 1 大田 理裟 2 吉田 清華	山口県立農業大学校(職) 山口県山岳・スポーツクラブイミング連盟 山口市消防本部
36 香川県	◎ 西尾 さとみ 1 長尾 奈緒子 2 金久 琴乃	(株)クリエ・ロジプラス 有限会社タマハ工芸 (株)パブリック
37 徳島県	◎ 小濱 愛 1 増田 心瑚 2 岩橋 美奈	徳島県山岳連盟 阿南高等専門学校 徳島大学
38 愛媛県	◎ 麻島 大悟 1 谷井 菜月 2 相原 麻菜美	株式会社フジワラコーポレーション 愛媛県競技力対策本部 聖カタリナ大学
39 高知県	◎ 乃一 広志 1 前多 由美子 2 高橋 リサ	高知県山岳・スポーツクラブイミング連盟 高知県山岳・スポーツクラブイミング連盟 高知県山岳・スポーツクラブイミング連盟
40 福岡県	◎ 佐藤 壽志 1 田島 瑞歩 2 秋貞 ひかり	日之出水道機器(株) 久留米大学 (株)ワールドツール
41 佐賀県	◎ 陣内 健太 1 大河内 芹香 2 橋口 結花	医療法人ひらまつ病院 Team SAGA SPORT PYRAMID 医療法人ひらまつ病院
42 長崎県	◎ 竹田 昭子 1 古賀 日和 2 安達 晴香	(公財)長崎県健康事業団 長崎県立大学 大村市立中央小学校(教)
43 熊本県	◎ 山下 昌実 1 山内 つくし 2 大田 奈緒子	熊本県山岳・スポーツクラブイミング連盟 熊本学園大学 くまもと成城病院
44 大分県	◎ 田北 篤史 1 森本 曜菜 2 別府 瑠彩	大分県立新生支援学校(教) 大分県山岳連盟 名古屋市立大学
45 宮崎県	◎ 兼城 尚子 1 濱砂 想叶 2 川西 智子	宮崎県スポーツクラブイミング協会 国立都城工業高等専門学校 宮崎県スポーツクラブイミング協会
46 鹿児島県	◎ 沼田 洋輔 1 狩集 紫乃 2 久保 志穂美	IKIジャパン株式会社 テクノ冷熱(株) (株)型枠久保組
47 沖縄県	◎ 竹下 賴道 1 松田 喜々 2 澪田 楓	沖縄県山岳・スポーツクラブイミング連盟 沖縄県山岳・スポーツクラブイミング連盟 沖縄県山岳・スポーツクラブイミング連盟

# 参加選手・監督一覧表

【少年男子】

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
1 北海道	◎ 國谷 斗馬 1 荒川 翔哉 2 下山 士和	(株)好日山荘 北海道札幌白石高等学校 札幌市立北野台中学校
2 青森県	◎ 長畠 慶春 1 濱谷 紗綾 2 川守田 莉久	ストラグル 青森県立弘前高等学校 八戸工業大学第一高等学校
3 岩手県	◎ 舘岡 瑛 1 倉本 心温 2 本堂 孔介	岩手県庁 岩手高等学校 岩手高等学校
4 宮城県	◎ 大友 理沙 1 中村 仁紀 2 江原 正浩	コスモ警備株式会社 宮城第一高等学校 宮城広瀬高等学校
5 秋田県	◎ 鈴木 大 1 畠山 奏大 2 白川 泰士	秋田県山岳・スポーツクラブ連盟 秋田県立大曲農業高等学校 秋田県立大館鳳鳴高等学校
6 山形県	◎ 栗田 秀信 1 林 孝太朗 2 栗田 瑛真	陸上自衛隊第20普通科連隊 山形県立山形工業高等学校 東北文教大学山形城北高等学校
7 福島県	◎ 佐々木 香 1 佐々木 玲偉 2 佐々木 泰地	Diverse Rock Climbing 福島成蹊高等学校 福島県立福島明成高等学校
13 東京都	◎ 渋谷 愛 1 笹原 蓉翠 2 神原 藍琉	東京都山岳連盟 東京都立篠崎高等学校 専修大学附属高等学校
14 神奈川県	◎ 高梨 護 1 濱田 琉誠 2 仲田 和樹	株エスピージーフコク 県立鎌倉高等学校 藤沢市立大清水中学校
16 新潟県	◎ 大月 英理香 1 伊藤 英視 2 島田 珀来	株式会社小嶋屋總本店 新潟北高校 上越教育大学附属中学校
17 長野県	◎ 川嶋 一暢 1 鎌木 大河 2 佐藤 陽輝	大町山の会 佐久市立浅間中学校 松本市立梓川中学校
18 富山県	◎ 嶋村 透 1 藤本 常太郎 2 西川 賀久	日本郵便株式会社 富山県立雄峰高等学校 高岡向陵高等学校
19 石川県	◎ 山本 俊和 1 梨野 琉晴 2 嵐 海琉	ニッコ一株式会社 星稜高等学校 石川県立工業高等学校

◎印・・・監督

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
20 福井県	◎ 花村 岳志 1 八田 泰成 2 古川 大智	信越マグネット 啓新高等学校 福井県立武生高等学校
22 愛知県	◎ 大山 史洋 1 三宅 創樹 2 中田 岳	(株)Nikkan 額田ゴルフ俱樂部 愛知県立天白高等学校 知多市立八幡中学校
23 三重県	◎ 濱松 正行 1 小山 楚嵐 2 斎木 猛斗	名張市立病院 三重県立上野高等学校 四日市市立中部中学校
25 滋賀県	◎ 喜多 織人 1 林 駿真 2 山本 悠仁	KO-WALL 滋賀県立瀬田工業高等学校 滋賀県立瀬田工業高等学校
28 兵庫県	◎ 藏敷 竜治 1 水谷 生 2 坪井 大和	兵庫県山岳連盟 神戸山手グローバル高等学校 たつの市立御津中学校
29 奈良県	◎ 奥畠 勝康 1 田渕 幹規 2 奥畠 成	キーボルダリング 上宮高等学校 同志社国際中学校
31 鳥取県	◎ 濱戸 啓太 1 藤田 楓 2 遠藤 笠源	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 鳥取城北高等学校 鳥取県立米子南高等学校
35 山口県	◎ 仲間 勇貴 1 上田 悠太 2 長尾 一樹	富士商株式会社 下関国際高等学校 山口市立小郡中学校
37 徳島県	◎ 大北 正 1 増田 凜世 2 中山 勇希	徳島県山岳連盟 阿南高等専門学校 徳島県山岳連盟
39 高知県	◎ 和田 教雅 1 角 泰知 2 大原 快斗	高知県山岳・スポーツクラブ連盟 高知県立高知国際高等学校 高知県立高知北高等学校
40 福岡県	◎ 富久 勝司 1 竹下 慎太郎 2 怡土 謙祐	(株)ワタケン 福岡県立筑紫中央高等学校 筑紫野市立二日市中学校
41 佐賀県	◎ 通谷 明徳 1 通谷 結太 2 河端 航大	株式会社名村造船所 佐賀県立多久高等学校 佐賀県立多久高等学校
44 大分県	◎ 森 桂子 1 原 丈琉 2 森 葵	大分県山岳連盟 日出町立日出中学校 大分県立大分工業高等学校

# 参加選手・監督一覧表

◎印・・・監督

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
1 北海道	◎ 酒井 美代子 1 酒井 雪羽 2 村上 和奏	北海道山岳・スポーツクラブ連盟 北海道小樽桜陽高等学校 北斗市立浜分中学校
3 岩手県	◎ 昆 僥太 1 高橋 咲來 2 稲葉 美悠	岩手県立県北青少年の家 紫波町立紫波第三中学校 盛岡市立仙北中学校
4 宮城県	◎ 斎藤 洋平 1 菱沼 佳恵 2 古賀 千絢	ノバリアクライミングジム 仙台市立東華中学校 仙台大学附属明成高等学校
9 栃木県	◎ 勅使河原 晓 1 斎藤 紗里依 2 斎藤 ちひろ	株オートニックジャパン 作新学院高等学校 栃木県立宇都宮白楊高等学校
12 千葉県	◎ 西田 朱李 1 村杉 汐里 2 的場 朱杜	(一社)千葉県山岳・スポーツクラブ連盟協会 千葉県立幕張総合高等学校 千葉県立国府台高等学校
13 東京都	◎ 美谷島 ももか 1 山崎 彩葉 2 柿崎 咲羽	日本大学 成立学園高等学校 明法高等学校
17 長野県	◎ 橋本 今史 1 徳嵩 悠乃 2 山田 泉都	ウェルシア薬局株式会社 東京都市大学塩尻高等学校 長野県松本美須ヶ丘高等学校
20 福井県	◎ 北市 麻希 1 木下 芽依 2 前田 小春	株大同ゼネラルサービス 北陸高等学校 棗中学校
21 静岡県	◎ 岩田 幸裕 1 狩野 凪 2 堀内 優里	浜松学芸高等学校(教) 浜松学芸高等学校 おおぞら高等学院
23 三重県	◎ 水谷 清彦 1 山 真奈実 2 西井 七海	株式会社ADDICT 三重県山岳・スポーツクラブ連盟 伊勢市立見中学校
25 滋賀県	◎ 橋山 武志 1 稲田 和華 2 村田 柚	ブリヂストンプラントエンジニアリング株式会社 滋賀県立草津東高等学校 滋賀県立彦根翔西館高等学校
26 京都府	◎ 清水 雅章 1 西田 和桜 2 村上 和香	ローム株式会社 京都つくば開成高等学校 京都精華学園中学校
27 大阪府	◎ 中貝 次郎 1 小田 菜摘 2 金木 そら	ナガガイクライミング株式会社 大阪府立東百舌鳥高等学校 大阪府立高槻北高等学校

都道府県名 県番号	氏 名	勤務先・学校名
28 兵庫県	◎ 東西 裕佳理 1 玉水 希 2 為則 星凜	神戸市立葺合高等学校(教) N高等学校 姫路市立飾磨西中学校
29 奈良県	◎ 秋山 幸史 1 秋山 明日葉 2 上垣 菜々佳	奈良県山岳連盟 橿原市立橿原中学校 奈良大学附属高等学校
30 和歌山県	◎ 大園 敬秀 1 井口 愛里心 2 立花 名津果	日本製鉄 和歌山製鉄所 和歌山県立新宮高等学校 海南市立第三中学校
31 鳥取県	◎ 西田 海斗 1 福光 蒼里 2 宮本 和奏	鳥取中部ふるさと広域連合 琴浦消防署 鳥取県立鳥取中央育英高等学校 南部町立法勝寺中学校
32 島根県	◎ 落合 浩司 1 久屋 陽紗菜 2 小村 周	島根イーグル株式会社 島根県立大社高等学校 松江市立八雲中学校
33 岡山県	◎ 大杉 忠則 1 中谷 美音 2 赤坂 もも	倉敷芸術科学大学(教) 岡山県美作高等学校 津山工業高等専門学校
34 広島県	◎ 正田 信一 1 有村 優佳 2 三宅 果乃	Switch climbing gym 広島国際学院高等学校 広島市立江波中学校
35 山口県	◎ 岩本 真弓 1 浜崎 恋羽 2 橋尾 芽依	山口県山岳・スポーツクラブ連盟 山口県桜ヶ丘高等学校 聖光高等学校
37 徳島県	◎ 日高 一輝 1 西川 美愛 2 忠津 実莉	徳島県山岳連盟 板野高校 城ノ内中等教育学校
40 福岡県	◎ 白水 明美 1 柳井 香凜 2 金生 心春	森のぼかほか保育園 春日市立春日野中学校 福岡市立和白丘中学校
41 佐賀県	◎ 楠田 淳史 1 梶 純香 2 中川内 心	佐賀県山岳・スポーツクラブ連盟 佐賀県立多久高等学校 武雄市立山内中学校
42 長崎県	◎ 安達 淳子 1 長崎 恋羽 2 西島 杏美	長崎県立諫早特別支援学校(教) 長崎県立長崎北高等学校 長崎大学教育学部附属中学校

# 総合成績決定方法と手順

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その多い都道府県に第1位から8位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

## (1) 競技得点

各種目とも、1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。ただし、同点の場合は、その順位を共有し次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

## (2) 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

詳細は、JSPOが定める「大会参加得点の考え方について」（令和5年4月1日改正）のとおり。

## 決定の手順

種別	種目	天皇杯 種別	皇后杯 種別
成年男子	リード ボルダリング	○ ○	— —
成年女子	リード ボルダリング	○ ○	○ ○
少年男子	リード ボルダリング	○ ○	— —
少年女子	リード ボルダリング	○ ○	○ ○

参加都道府県（ブロック大会予選会を含む）に10点を与える。

参加得点

種目順位  
及び得点

種目の高順位を決定する。ただし、同順位の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。  
種目順位により  
1位=24点 2位=21点  
3位=18点 4位=15点  
5位=12点 6位=9点  
7位=6点 8位=3点  
を該当都道府県に与える。ただし、同点の場合は当該都道府県でその順位を共有し次の順位を欠位とする。  
この場合次順位の得点を加えて当該都道府県で等分する。

※男女総合（天皇杯）得点 最高 202点  
※女子総合（皇后杯）得点 最高 106点

合計

全競技得点

都道府県の種目得点を合計して、全競技得点とし、その得点順位により順位を決定する。ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

全競技得点に参加得点を加え、総合得点とする。したがって男女総合（天皇杯）得点の最高は202点、女子総合（皇后杯）得点の最高は106点となる。

# 種目得点表

## 【成年男子】

区分 都道府県	リード			ボルダー		
	得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1 北海道						
2 青森県						
3 岩手県						
4 宮城県						
5 秋田県						
6 山形県						
7 福島県						
8 茨城県						
9 栃木県						
10 群馬県						
11 埼玉県						
12 千葉県						
13 東京都						
14 神奈川県						
15 山梨県						
16 新潟県						
17 長野県						
18 富山県						
19 石川県						
20 福井県						
21 静岡県						
22 愛知県						
23 三重県						
24 岐阜県						
25 滋賀県						
26 京都府						
27 大阪府						
28 兵庫県						
29 奈良県						
30 和歌山県						
31 鳥取県						
32 島根県						
33 岡山県						
34 広島県						
35 山口県						
36 香川県						
37 徳島県						
38 愛媛県						
39 高知県						
40 福岡県						
41 佐賀県						
42 長崎県						
43 熊本県						
44 大分県						
45 宮崎県						
46 鹿児島県						
47 沖縄県						

## 【成年女子】

区分 都道府県	リード			ボルダー		
	得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1 北海道						
2 青森県						
3 岩手県						
4 宮城県						
5 秋田県						
6 山形県						
7 福島県						
8 茨城県						
9 栃木県						
10 群馬県						
11 埼玉県						
12 千葉県						
13 東京都						
14 神奈川県						
15 山梨県						
16 新潟県						
17 長野県						
18 富山県						
19 石川県						
20 福井県						
21 静岡県						
22 愛知県						
23 三重県						
24 岐阜県						
25 滋賀県						
26 京都府						
27 大阪府						
28 兵庫県						
29 奈良県						
30 和歌山県						
31 鳥取県						
32 島根県						
33 岡山県						
34 広島県						
35 山口県						
36 香川県						
37 徳島県						
38 愛媛県						
39 高知県						
40 福岡県						
41 佐賀県						
42 長崎県						
43 熊本県						
44 大分県						
45 宮崎県						
46 鹿児島県						
47 沖縄県						

## 種目得点表

【少年男子】

区分 都道府県	リード			ボルダー		
	得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1 北海道						
2 青森県						
3 岩手県						
4 宮城県						
5 秋田県						
6 山形県						
7 福島県						
8 茨城県						
9 栃木県						
10 群馬県						
11 埼玉県						
12 千葉県						
13 東京都						
14 神奈川県						
15 山梨県						
16 新潟県						
17 長野県						
18 富山県						
19 石川県						
20 福井県						
21 静岡県						
22 愛知県						
23 三重県						
24 岐阜県						
25 滋賀県						
26 京都府						
27 大阪府						
28 兵庫県						
29 奈良県						
30 和歌山县						
31 鳥取県						
32 島根県						
33 岡山县						
34 広島県						
35 山口県						
36 香川県						
37 徳島県						
38 愛媛県						
39 高知県						
40 福岡県						
41 佐賀県						
42 長崎県						
43 熊本県						
44 大分県						
45 宮崎県						
46 鹿児島県						
47 沖縄県						

【少年女子】

区分 都道府県	リード			ボルダー		
	得点	順位	競技得点	得点	順位	競技得点
1 北海道						
2 青森県						
3 岩手県						
4 宮城県						
5 秋田県						
6 山形県						
7 福島県						
8 茨城県						
9 栃木県						
10 群馬県						
11 埼玉県						
12 千葉県						
13 東京都						
14 神奈川県						
15 山梨県						
16 新潟県						
17 長野県						
18 富山県						
19 石川県						
20 福井県						
21 静岡県						
22 愛知県						
23 三重県						
24 岐阜県						
25 滋賀県						
26 京都府						
27 大阪府						
28 兵庫県						
29 奈良県						
30 和歌山县						
31 鳥取県						
32 島根県						
33 岡山县						
34 広島県						
35 山口県						
36 香川県						
37 徳島県						
38 愛媛県						
39 高知県						
40 福岡県						
41 佐賀県						
42 長崎県						
43 熊本県						
44 大分県						
45 宮崎県						
46 鹿児島県						
47 沖縄県						

## 総合成績一覧表

区分 都道府県	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		競技得点合計	男女総合成績 (天皇杯得点)		女子総合成績 (皇后杯得点)		
	リード	ボルダー	リード	ボルダー	リード	ボルダー	リード	ボルダー		算出基礎	競技得点	参加得点	算出基礎	競技得点
	リード	ボルダー	リード	ボルダー	リード	ボルダー	リード	ボルダー	合計	順位	合計	順位	合計	順位
1 北海道									10		10		10	
2 青森県									10		10		10	
3 岩手県									10		10		10	
4 宮城県									10		10		10	
5 秋田県									10		10		10	
6 山形県									10		10		10	
7 福島県									10		10		10	
8 茨城県									10		10		10	
9 栃木県									10		10		10	
10 群馬県									10		10		10	
11 埼玉県									10		10		10	
12 千葉県									10		10		10	
13 東京都									10		10		10	
14 神奈川県									10		10		10	
15 山梨県									10		10		10	
16 新潟県									10		10		10	
17 長野県									10		10		10	
18 富山県									10		10		10	
19 石川県									10		10		10	
20 福井県									10		10		10	
21 静岡県									10		10		10	
22 愛知県									10		10		10	
23 三重県									10		10		10	
24 岐阜県									10		10		10	
25 滋賀県									10		10			

## 過去の成績一覧表（天皇杯・皇后杯順位）

順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
開催県	区分								
第54回（熊本県）	天皇杯	熊本県	広島県	山口県	長崎県	京都府	福島県	三重県	岩手県
	皇后杯	熊本県	京都府	山口県	三重県	福島県 広島県	・・・	宮城県 長崎県	・・・
第55回（富山県）	天皇杯	富山県	京都府	広島県	山口県	岩手県	静岡県	神奈川県	福島県
	皇后杯	富山県	京都府	広島県	山口県	東京都	福島県	大阪府 長崎県	・・・
第56回（宮城県）	天皇杯	宮城県	福島県	京都府	神奈川県	山口県	長崎県	岩手県 宮城県	・・・
	皇后杯	宮城県	京都府	福島県	広島県	長崎県	神奈川県 富山県	・・・	山口県
第57回（高知県）	天皇杯	山口県	静岡県	京都府	岩手県	神奈川県	千葉県 東京都 高知県	・・・	・・・
	皇后杯	京都府	東京都 高知県	・・・	山口県	千葉県	神奈川県 広島県	・・・	山形県 香川県
第58回（静岡県）	天皇杯	静岡県	千葉県 京都府	・・・	鳥取県	熊本県	新潟県 大阪府	・・・	神奈川県 山口県 長崎県
	皇后杯	静岡県	京都府	熊本県	鳥取県	長崎県	茨城県 千葉県 岡山県 山口県	・・・	・・・
第59回（埼玉県）	天皇杯	埼玉県	長崎県	千葉県	神奈川県	京都府 鳥取県	・・・	北海道	茨城県 山口県
	皇后杯	埼玉県	京都府	長崎県	千葉県	鳥取県 山口県	・・・	北海道 神奈川県	・・・
第60回（岡山県）	天皇杯	岡山県	千葉県	京都府	長崎県	宮城県	鳥取県	熊本県	愛知県 山口県
	皇后杯	京都府	岡山県	千葉県	長崎県	鳥取県 山口県	・・・	熊本県	兵庫県
第61回（兵庫県）	天皇杯	兵庫県	千葉県	秋田県	京都府	宮城県	神奈川県	高知県 長崎県	・・・
	皇后杯	千葉県 兵庫県 高知県	・・・	・・・	秋田県 熊本県	・・・	宮城県 長崎県	・・・	北海道 鳥取県
第62回（秋田県）	天皇杯	宮城県 秋田県	・・・	長崎県	鳥取県	山口県	千葉県 静岡県	・・・	神奈川県
	皇后杯	山口県 長崎県	・・・	宮城県 秋田県	・・・	静岡県	千葉県 鳥取県 熊本県	・・・	・・・
第63回（大分県）	天皇杯	宮城県	千葉県	北海道	山口県	神奈川県	佐賀県	茨城県	愛知県
	皇后杯	茨城県	山口県	富山県	北海道	宮城県	愛知県	埼玉県	大分県
第64回（新潟県）	天皇杯	千葉県	宮城県	茨城県	山口県	神奈川県	大阪府	栃木県	北海道 長野県
	皇后杯	茨城県	山口県	千葉県	宮城県	大阪府	山梨県	神奈川県	静岡県
第65回（千葉県）	天皇杯	千葉県	宮城県	山口県	北海道	神奈川県	山梨県	埼玉県	栃木県 岡山県
	皇后杯	千葉県	山口県	宮城県	茨城県 大阪府	・・・	埼玉県 神奈川県	・・・	北海道 岩手県 山梨県 兵庫県
第66回（山口県）	天皇杯	千葉県	山口県	長崎県	岐阜県	北海道 兵庫県	・・・	茨城県 東京都 岡山県 広島県	・・・
	皇后杯	山口県	千葉県	岐阜県	兵庫県	長崎県	東京都	北海道 福岡県	・・・

順位		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
開催県	区分								
第67回（岐阜県）	天皇杯	千葉県	北海道	山口県	埼玉県	岐阜県	栃木県 長崎県	・・・	長野県
	皇后杯	千葉県	北海道	茨城県 埼玉県 岐阜県	・・・	・・・	兵庫県 山口県	・・・	栃木県
第68回（東京都）	天皇杯	埼玉県 東京都	・・・	千葉県	山口県	北海道	長崎県	長野県 三重県	・・・
	皇后杯	東京都	山口県	北海道 三重県	・・・	埼玉県	千葉県	栃木県	山梨県
第69回（長崎県）	天皇杯	千葉県	三重県	岐阜県	山口県	北海道 大阪府	・・・	埼玉県 長野県 長崎県	・・・
	皇后杯	千葉県	長崎県 三重県	・・・	宮城県 東京都	・・・	山口県	山梨県 岐阜県	・・・
第70回（和歌山県）	天皇杯	埼玉県	山口県	千葉県	長崎県	北海道	大阪府	栃木県	福岡県 佐賀県
	皇后杯	長崎県	埼玉県	愛知県	山口県	東京都	千葉県 静岡県 鳥取県	・・・	・・・
第71回（岩手県）	天皇杯	埼玉県	茨城県	長崎県	千葉県	大阪府	岩手県 鳥取県	・・・	東京都
	皇后杯	長崎県	埼玉県	茨城県	鳥取県	山口県	東京都	宮城県 千葉県 大阪府	・・・
第72回（愛媛県）	天皇杯	埼玉県	大阪府	東京都	福岡県	福井県 愛知県	・・・	岩手県 栃木県	・・・
	皇后杯	東京都	福井県	岩手県	山口県	大阪府	北海道 愛知県	・・・	三重県 長崎県
第73回（福井県）	天皇杯	茨城県	埼玉県	福井県	東京都	神奈川県	大阪府	栃木県 愛知県	・・・
	皇后杯	茨城県	東京都	福井県	大阪府	愛知県 三重県 長崎県	・・・	・・・	神奈川県
第74回（茨城県）	天皇杯	茨城県	埼玉県	愛知県	東京都	・・・	大阪府	北海道	福井県
	皇后杯	茨城県	東京都	福井県	大阪府	福島県	埼玉県	山口県	福井県 長崎県
第75回（鹿児島県）	天皇杯	延期							
	天皇杯	中止							
第76回（三重県）	天皇杯	中止							
	天皇杯	千葉県	東京都	栃木県	大阪府	佐賀県	茨城県	三重県	埼玉県
第77回（栃木県）	天皇杯	千葉県	埼玉県	・・・	茨城県 静岡県 大阪府	・・・	・・・	福井県	佐賀県
	皇后杯	千葉県	埼玉県	・・・	大阪府	福島県	埼玉県	山口県	福井県 長崎県
特別（鹿児島県）	天皇杯	佐賀県	東京都	大阪府	奈良県	栃木県	埼玉県	三重県	愛知県
	皇后杯	東京都	大阪府	埼玉県 愛知県	・・・	佐賀県	静岡県 三重県	・・・	茨城県 滋賀県
第78回（佐賀県）	天皇杯	東京都	佐賀県	神奈川県	埼玉県 奈良県	・・・	三重県	千葉県	栃木県
	皇后杯	東京都	千葉県	埼玉県	滋賀県	静岡県	大阪府	長野県	神奈川県 佐賀県

## 過去の成績一覧表（種別・種目別順位）

区分		1位	2位	3位
第54回 (熊本県)	種別	成年男子	熊本県	岩手県
		成年女子	熊本県	山口県
		少年男子	熊本県	重島
		少年女子	山口県	福島
	縦走競技	成年男子	群馬県	京都市
第55回 (富山県)	種別	成年女子	福島県	熊本県
		少年男子	熊本県	長野県
		少年女子	京都市	島崎
		成年男子	群馬県	本庄
	縦走競技	成年女子	福島県	形島
第56回 (宮城県)	種別	少年男子	熊本県	島口
		少年女子	富山県	富山
		成年男子	群馬県	東京
		成年女子	福島県	都府
	縦走競技	少年男子	神奈川県	京都市
第57回 (高知県)	種別	少年女子	広島県	福島
		成年男子	富山県	東京
		成年女子	宮崎県	都府
		少年男子	福井県	山口
	縦走競技	少年女子	京都府	京都市
種目別	クライミング	成年男子	千葉県	東京
	競技	成年女子	静岡県	大阪
	クライミング	少年男子	京都府	府
	競技	少年女子	鳥取県	熊本
	クライミング	成年男子	千葉県	京都

区分		1位	2位	3位
第58回 (静岡県)	種目別	成年男子	福島県	神奈川県
		成年女子	岡山県	広島県
		少年男子	新潟県	岩手県
		少年女子	鳥取県	熊本県
	縦走競技	成年男子	千葉県	大阪府
第59回 (埼玉県)	種目別	成年女子	静岡県	埼玉県
		競技	京都府	静岡県
		少年女子	茨城県	山口県
		成年男子	群馬県	静岡県
	縦走競技	成年女子	京都府	埼玉県
第60回 (岡山県)	種目別	競技	千葉県	千葉県
		少年男子	埼玉県	佐賀県
		少年女子	北海道	茨城县
		成年男子	香川県	長崎県
	縦走競技	成年女子	岡山県	千葉県
第61回 (兵庫県)	種目別	少年男子	岡山県	鳥取県
		少年女子	鳥取県	新潟県
		成年男子	千葉県	愛知県
		成年女子	京都府	長崎県
	縦走競技	競技	京都府	宮城県
第62回 (秋田県)	種目別	少年女子	千葉県	兵庫県
		成年男子	神奈川県	福島県
		成年女子	秋田県	長崎県
		少年男子	岡山県	神奈川県
	縦走競技	少年女子	岩手県	兵庫県
第63回 (大分県)	種目別	成年男子	高知県	秋田県
		成年女子	愛知県	静岡県
		少年男子	千葉県	神奈川県
		少年女子	宮城県	長崎県
	リード競技	成年男子	兵庫県	千葉県
第64回 (新潟県)	種目別	成年女子	秋田県	秋田県
		少年男子	岡山県	長崎県
		少年女子	鳥取県	神奈川県
		成年男子	福島県	愛知県
	リード競技	成年女子	京都府	宮城県
種目別	ボルダリング	少年男子	千葉県	静岡県
	競技	少年女子	大分県	長野県
	ボルダリング	成年男子	滋賀県	埼玉県
	競技	成年女子	北海道	岩手県
	ボルダリング	少年男子	千葉県	千葉県
種目別	競技	少年女子	山梨県	宮城県
	ボルダリング	成年男子	宮城県	神奈川県
	競技	成年女子	滋賀県	宮城県
	ボルダリング	少年男子	千葉県	長野県
	競技	少年女子	大分県	山梨県

## 過去の成績一覧表（天皇杯・皇后杯順位）

区分		1位	2位	3位
第65回 (千葉県)	リード競技	成年男子	宮城県	千葉県
		成年女子	神奈川県	宮城県
		少年男子	千葉県	山口県
		少年女子	山口県	千葉県
	ボルダリング 競技	成年男子	栃木県	北海道
		成年女子	北海道	岩手県
		少年男子	千葉県	山梨県
		少年女子	山口県	埼玉県
第66回 (山口県)	リード競技	成年男子	千葉県	佐賀県
		成年女子	兵庫県	千葉県
		少年男子	千葉県	山口県
		少年女子	山口県	茨城県
	ボルダリング 競技	成年男子	北海道	長崎県
		成年女子	北海道	兵庫県
		少年男子	千葉県	東京都
		少年女子	山口県	岐阜県
第67回 (岐阜県)	リード競技	成年男子	長野県	千葉県
		成年女子	岐阜県	茨城県
		少年男子	埼玉県	千葉県
		少年女子	千葉県	長崎県
	ボルダリング 競技	成年男子	佐賀県	長野県
		成年女子	山口県	茨城県
		少年男子	山口県	北海道
		少年女子	千葉県	埼玉県
第68回 (東京都)	リード競技	成年男子	長野県	長崎県
		成年女子	山口県	千葉県
		少年男子	埼玉県	千葉県
		少年女子	三重県	東京都
	ボルダリング 競技	成年男子	愛知県	長野県
		成年女子	東京都	山梨県
		少年男子	埼玉県	大阪府
		少年女子	埼玉県	三重県
第69回 (長崎県)	リード競技	成年男子	長野県	神奈川県
		成年女子	山口県	千葉県
		少年男子	福岡県	千葉県
		少年女子	三重県	東京都
	ボルダリング 競技	成年男子	長野県	大阪府
		成年女子	宮城県	千葉県
		少年男子	栃木県	岐阜県
		少年女子	東京都	三重県
第70回 (和歌山県)	リード競技	成年男子	千葉県	佐賀県
		成年女子	山口県	埼玉県
		少年男子	埼玉県	福岡県
		少年女子	愛知県	大阪府
	ボルダリング 競技	成年男子	大分県	栃木県
		成年女子	埼玉県	長崎県
		少年男子	福岡県	山口県
		少年女子	長崎県	鳥取県
第71回 (岩手県)	リード競技	成年男子	埼玉県	茨城県
		成年女子	茨城県	山口県
		少年男子	岩手県	東京都
		少年女子	長崎県	埼玉県
	ボルダリング 競技	成年男子	千葉県	福岡県
		成年女子	茨城県	東京都
		少年男子	大阪府	岩手県
		少年女子	鳥取県	埼玉県

区分		1位	2位	3位
第72回 (愛媛県)	リード競技	成年男子	愛媛県	大阪府
		成年女子	福井県	三重県
		少年男子	栃木県	福岡県
		少年女子	大阪府	岩手県
	ボルダリング 競技	成年男子	大阪府	和歌山県
		成年女子	福井県	山口県
		少年男子	埼玉県	栃木県
		少年女子	岩手県	東京都
第73回 (福井県)	リード競技	成年男子	埼玉県	佐賀県
		成年女子	茨城県	三重県
		少年男子	愛媛県	滋賀県
		少年女子	東京都	茨城県
	ボルダリング 競技	成年男子	埼玉県	福井県
		成年女子	長崎県	東京都
		少年男子	栃木県	埼玉県
		少年女子	神奈川県	愛知県
第74回 (茨城県)	リード競技	成年男子	佐賀県	埼玉県
		成年女子	大阪府	茨城県
		少年男子	岐阜県	滋賀県
		少年女子	東京都	奈良県
	ボルダリング 競技	成年男子	岐阜県	三重県
		成年女子	愛知県	長崎県
		少年男子	栃木県	岐阜県
		少年女子	東京都	福島県
第75回 (鹿児島県)	リード競技	延期		
		ボルダリング 競技		
第76回 (三重県)	リード競技	中止		
		ボルダリング 競技		
第77回 (栃木県)	リード競技	成年男子	千葉県	鳥取県
		成年女子	茨城県	千葉県
		少年男子	山口県	千葉県
		少年女子	大阪府	静岡県
	ボルダリング 競技	成年男子	大阪府	栃木県
		成年女子	東京都	佐賀県
		少年男子	東京都	三重県
		少年女子	埼玉県	栃木県
特別 (鹿児島県)	リード競技	成年男子	佐賀県	奈良県
		成年女子	東京都	佐賀県
		少年男子	山口県	神奈川県
		少年女子	大阪府	静岡県
	ボルダリング 競技	成年男子	栃木県	奈良県
		成年女子	東京都	愛知県
		少年男子	佐賀県	佐賀県
		少年女子	東京都	三重県
第78回 (佐賀県)	リード競技	成年男子	佐賀県	奈良県
		成年女子	東京都	千葉県
		少年男子	佐賀県	高知県
		少年女子	大阪府	静岡県
	ボルダー 競技	成年男子	栃木県	愛媛県
		成年女子	滋賀県	千葉県
		少年男子	神奈川県	三重県
		少年女子	東京都	静岡県

## 関係機関一覧表

### ■交通機関関係

区分	所在地	電話番号
バス	近江バス 八日市営業所	0748-22-5511
タクシー	近江タクシー	0748-37-0106
	滋賀第一交通	0120-37-7535

### ■警察・消防署

名称	所在地	電話番号
近江八幡警察署	近江八幡市土田町1322番地1	0748-32-0110
竜王交番	竜王町大字綾戸964番地	0748-57-0249
東近江行政組合消防本部	東近江市東今崎町5番33号	0748-22-7600
近江八幡消防署	近江八幡市小船木町819番地	0748-33-5119
近江八幡消防署(竜王出張所)	竜王町大字山之上5895番地	0748-57-0119

### ■医療機関等一覧表

名称	所在地	電話番号
近江八幡市立総合医療センター	近江八幡市土田町1379番地	0748-33-3151
近江八幡休日急患診療所	近江八幡市出町381番地	0748-33-9311
あえんぼクリニック	竜王町大字山之上5572番地	0748-57-0610
弓削メディカルクリニック	竜王町大字弓削1825番地	0748-57-1141
石塚内科クリニック	竜王町大字小口1658番地1	0748-58-0025
どらごんクリニック	竜王町大字須恵814番地93	0748-58-2932
かりもと整形外科クリニック	竜王町大字小口1658番地1	0748-28-1100
市立野洲病院	野洲市小篠原1094番地	077-587-1332
東近江市蒲生医療センター	東近江市桜川西町340番地	0748-55-1175

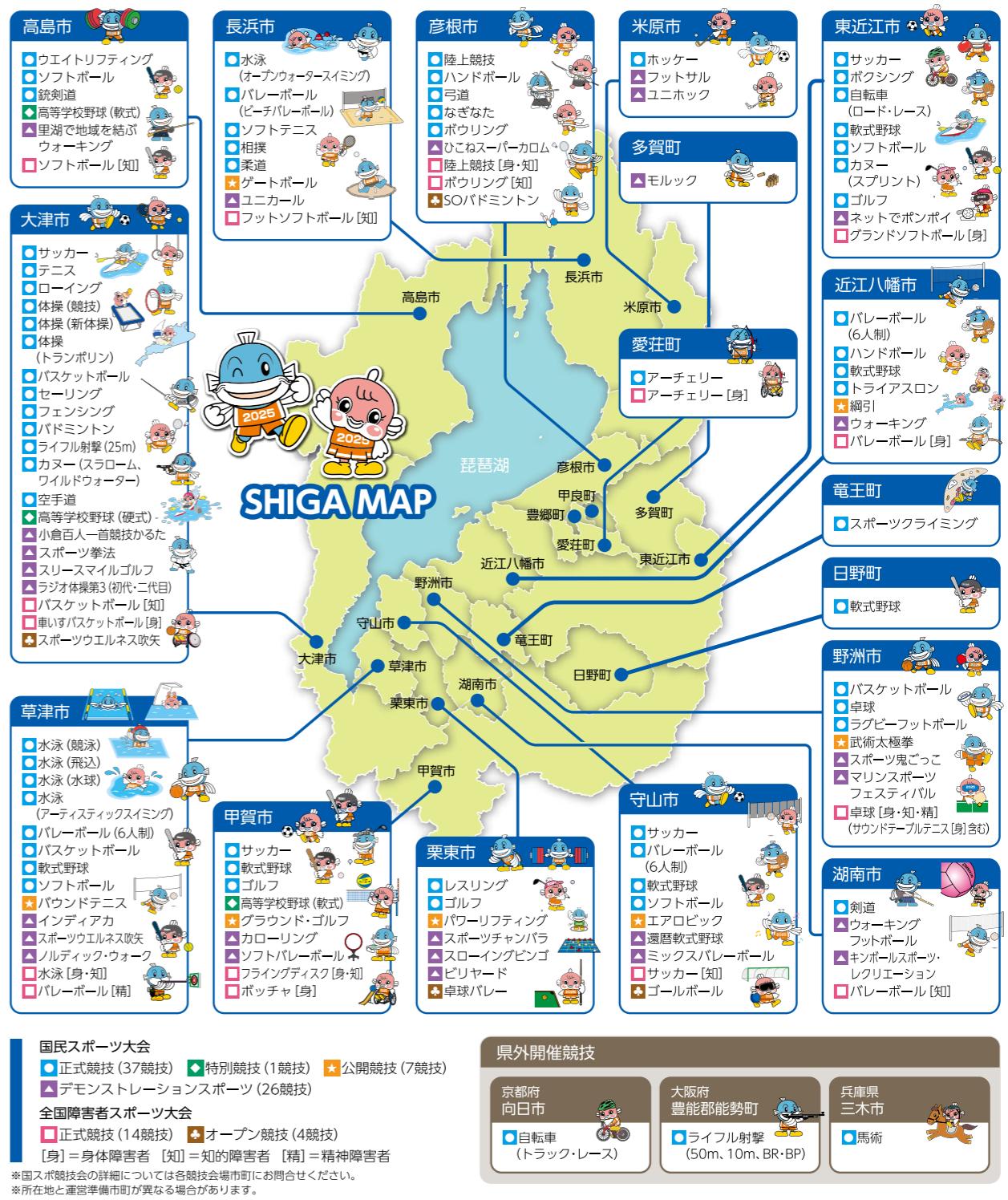
※医療機関等へ来院する場合は、事前に連絡するようお願いします。

### ■わたSHIGA輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会

施設名	所在地	電話番号
竜王町総合運動公園	竜王町大字岡屋3242番地	0748-58-0111
地域産業研修センター		

## わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



### びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)～10月8日(水) [11日間開催]  
 国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)～9月15日(月)、令和7年9月21日(日)～9月25日(木)  
 障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)～10月27日(月) [3日間開催]

大会公式SNS・HPはコチラから! 滋賀2025 検索

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

大会PR  
動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。

Instagram



X



大会HP



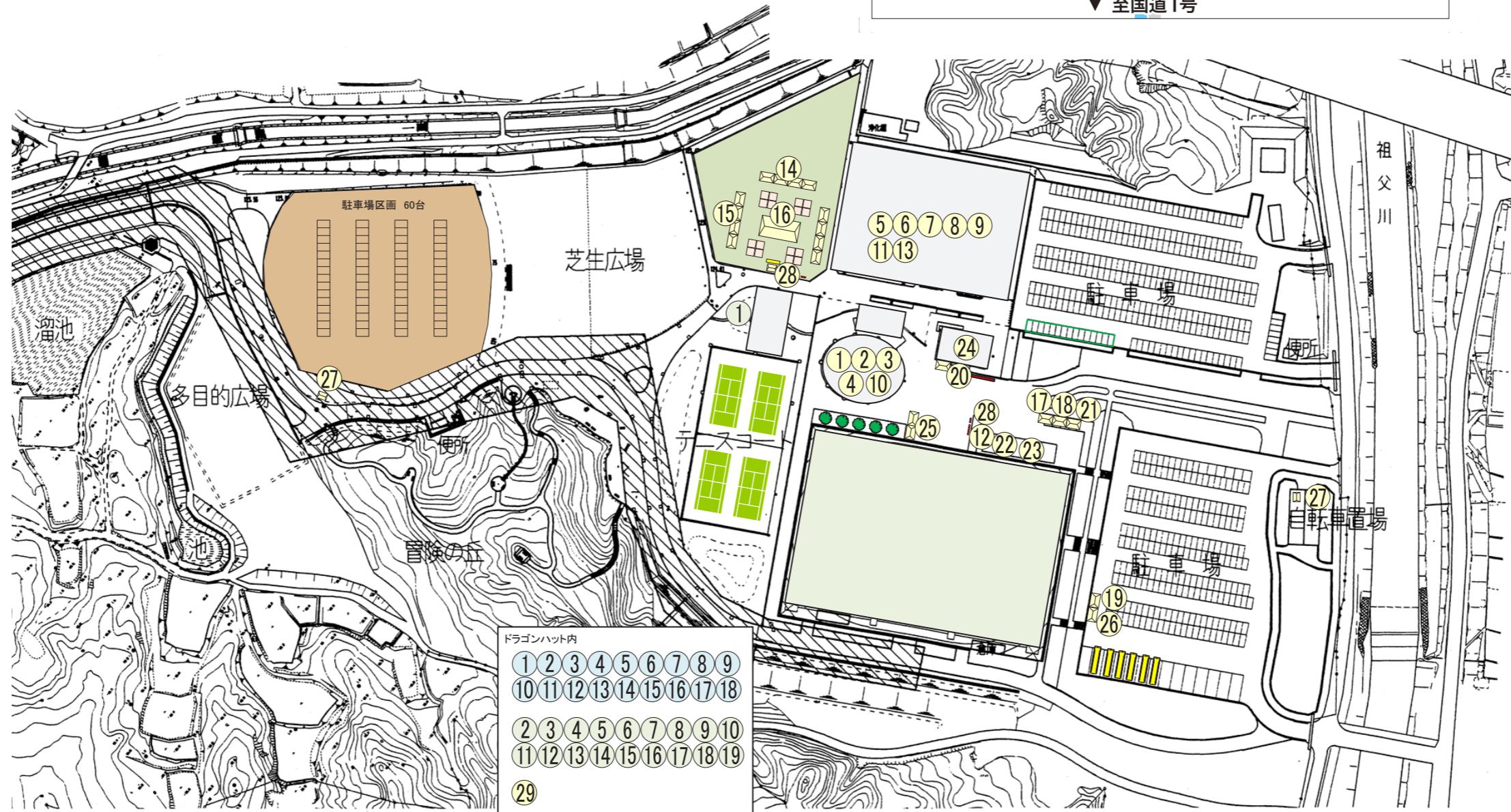
ミックス  
国際化  
競技会場をより多く開催



VEGETABLE  
OIL INK

●用紙:責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙  
●インク:植物油インキを使用

# 第79回国民スポーツ大会 スポーツクライミング競技会場



NO	施設名	名称
1	B受付(予選)	
2	B受付(決勝)	
3	Bアイソレーションルーム	
4	B最終コールゾーン	
5	Bテクニカルインシデント待機室	
6	B仮設トイレ(選手・監督用)	
7	Bウォール会場	
8	B競技観覧会場	
9	B時計席	
10	B放送席	
11	Bセッタ一席	
12	B救護所	
13	B競技終了選手待機所	
14	B持込禁止物返却所	
15	B更衣室(競技終了後)	
16	Bビデオ判定室	
17	B審判員・競技補助員控所	
18	Bホールド保管所	

NO	施設名	名称
1	L受付(予選)	
2	L受付(決勝)	
3	Lアイソレーションルーム	
4	L最終コールゾーン	
5	Lテクニカルインシデント	
6	L仮設トイレ(選手・監督用)	
7	Lウォール会場	
8	L競技観覧会場	
9	L時計席	
10	L放送席	
11	Lセッタ一席	
12	L救護所	
13	L競技終了選手待機所	
14	L持込禁止物返却所	
15	L更衣室(競技終了後)	
16	Lビデオ判定室	
17	L審判員・競技補助員控所	
18	Lホールド保管所	
19	高所作業車待機所	

NO	施設名	名称
1	実施本部	
2	競技本部	
3	記録集計室	
4	来賓・大会役員控所	
5	プレスワーキングルーム	
6	報道員控所	
7	競技会係員控所	
8	競技補助員控所	
9	競技役員・視察員控所	
10	医師待機所	
11	種別表彰式会場	
12	スケジュールボード	
13	インタビューコーナー	
14	売店	
15	おもてなし・ドリンクコーナー	
16	一般休憩所	
17	環境美化係控所	
18	消防・警備本部	
19	輸送・交通本部	
20	弁当引換所	
21	ゴミ集積所	
22	一般用トイレ	
23	多目的トイレ	
24	ベビーケアルーム	
25	総合案内所	
26	選手監督バス乗降所	
27	駐車場係員控所	
28	会場案内図	
29	救護所	



『ス ポ ハ ラ （ス ポ ーツ ・ ハ ラ ス メ ン ト ）』と は ？

「ス ポ ハ ラ （ス ポ ーツ ・ ハ ラ ス メ ン ト ）」と は 、ス ポ ーツ の 現 場 お い て 、「暴 力 」、「暴 言 」、「ハ ラ ス メ ン ト 」、「差 別 」な ど “安 全 ・ 安 心 にス ポ ーツ を 楽 し ゆ こ と を 壊 す 行 为 ”の こ と です。

指 導 者 と 指 導 を 受 け る 者 と の 関 係 のみ なら ず 、ス ポ ーツ の 現 場 お い て の 関 係 者 の誰 に も よ っ て も 、ま た 誰 に 対 し て あ って も 、ス ポ ハ ラ は 起 こ り え ます。



Japanese  
Olympic  
Committee



UNIVAS

『ス ポ ハ ラ 』 根 絶 に 向 け た 取 組 み



# NO! ス ポ ハ ラ

ス ポ ーツ ・ ハ ラ ス メ ン ト

( 暴 力 ・ 暴 言 ・ ハ ラ ス メ ン ト な ど ) に 、  
み ん な が 『 NO ! 』 と 言 う 社 会 を 目 指 し て



## ぼ う り ょ く こ う い と う そ う だ ん ま ど ぐ ち ス ポ ーツ に お け る 暴 力 行 为 等 相 谈 窓 口

相 谈 員



り よ う か の う  
ど な た で も ご 利 用 可 能 !

き が る そ う だ ん  
お 気 軽 に ご 相 谈 く だ さ い

ス ポ ーツ に お け る 暴 力 行 为 等 根 絶 宣 言 ・  
ス ポ ーツ ・ イ ン テ グ リ テ ィ 確 保 に 關 する 協 力 覚 書 »



JSPO事業についてこちら>>>JSPO事業概要パンフレット「ス ポ ーツ と 、望 む 未 来 へ 。」



## 『スポハラ』根絶に向けた取組み JSPO

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

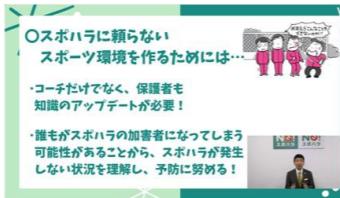


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



# アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。

すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

## 安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。  
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>

- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手段により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会  
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター

# 超えて ひきな

挑戦者たちは越えようとする。  
記録を。ライバルを。自分自身を。  
過去の常識も。世界の価値観さえも。  
挑戦者たちこそあらじい未来への原動力だ。  
これまで、そしてこれからも、  
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。  
スポーツの持つ様々な可能性で、  
望む未来へたどり着くために。

**JSPO**  
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬 MIZUNO 三井住友海上  
MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ 時事通信



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

# JAPAN GAMES SPORTS CLIMBING in RYUOH

第 79 回国民スポーツ大会

発行：令和 7 年 9 月

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ竜王町実行委員会

競技記録・速報 URL



PC・スマホ



フィーチャーフォン  
(ガラケー)

国スポの観覧・観戦に関するお問い合わせ

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局コールセンター

■開設期間：令和 7 年 4 月 1 日(火)～8 月 31 日(日)

9:00～18:00(土日・祝日除く)

令和 7 年 9 月 7 日(月)～10 月 31 日(金)

9:00～18:00(毎日)

■電話番号：0120 - 550 - 882

■メールアドレス：[support@shiga-sports.jp](mailto:support@shiga-sports.jp)